

令和7年度岡山県公立学校

教員採用候補者選考試験

実施要項

岡山県教育委員会

* 大学3年次等チャレンジ選考の方は、この実施要項と別冊「出願の手引き」をご覧ください。 *

目次

| | | | | | |
|----|---|--------|---------------|-----------|----|
| 1 | 目的 | 1 | 11 | 補欠 | 14 |
| 2 | 求める教員像 | 1 | 12 | 採用候補者の勤務校 | 15 |
| 3 | 受験資格 | 1 | 13 | その他 | 15 |
| 4 | 選考する校種・職種及び採用候補者見込数 | 2 | <表1> | | 15 |
| 5 | 出願手続<電子申請(インターネット)による> 返信用封筒の作成方法(第1次試験) | 3 5 | 電子申請・書類作成上の参考 | | 16 |
| 6 | 選考試験の日程・会場・内容及び携行品等 | 6 | 入力欄不足用 | | 18 |
| 7 | 特別選考試験 | 9 | 特別選考調書<様式ア> | | 20 |
| 8 | 選考基準等 | 13 | 特別選考調書<様式イ> | | 21 |
| 9 | 選考結果の通知 | 14 | お答えします あなたの質問 | | 22 |
| 10 | 選考結果の情報提供 | 14 | 会場案内図 | | 24 |
| | | | 受験票 | | 26 |

出願は電子申請(インターネット)で行うこと

出願期間: 令和6年4月15日(月)~令和6年5月14日(火) 17:00

この試験についての問い合わせ先

岡山県教育庁教職員課 〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6 電話(086)226-7915
ホームページURL <https://www.pref.okayama.jp/site/574/>

1 目的

この選考試験は、令和7年度の岡山県公立学校（岡山市立学校を除く。）教員の採用候補者の選考資料とするため、岡山県教育委員会が実施する。なお、そのうち筆記試験については、大学3年生等が受験することができる「大学3年次等チャレンジ選考」として実施する。（当該選考の詳細は、「大学3年次等チャレンジ選考～出願の手引き～」に記載している。）

2 求める教員像

岡山県の教育課題を深く理解し、果敢に立ち向かうことのできる教員

- 本県の教育課題である学力向上や德育、生徒指導に関する確かな指導力のある人
- 地域の教育資源の活用やキャリア教育により、学ぶ楽しさや学ぶ意味を伝える人

強い使命感と情熱、高い倫理観、豊かな教育的愛情を持った教員

- 本気で子どもたちと関わる中で、教員としての喜びや意義を見いだせる人
- 子ども一人一人の良さを認めて、子どものやる気を引き出すことができる人

多様な経験を積む中で協働して課題解決に当たるなど、生涯にわたって学び続ける教員

- 多様な経験や校内外での研鑽により、専門性やコミュニケーション能力を高める人
- チームの一員として協働する中で、自ら行動するとともに他者にも働き掛け、必要に応じて支援しようとするリーダーシップを発揮して課題解決に当たることができる人

3 受験資格

次の各号のいずれにも該当する者

- 1 学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の欠格条項に該当しない者
- 2 出願する校種・職種、教科等の教諭普通免許状所有者又は令和7年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者
※ いずれの免許状についても**教員資格認定試験による取得見込みは除く。**
ただし、次の表に示す校種・職種を受験する者については、それぞれ示した出願要件を全て満たすこと。
（表中の教諭普通免許状所有者については、令和7年3月31日までに取得見込みの者を含む。）

| 校種・職種等 | 出願要件 |
|---|--|
| 高等学校教諭等の地理歴史 高等学校教諭等の公民 | (ア) 高等学校地理歴史の教諭普通免許状所有者 (イ) 高等学校公民の教諭普通免許状所有者 |
| 特別支援学校教諭等 | (ア) 特別支援学校、盲学校、聾学校、養護学校のいずれかの教諭普通免許状所有者 (イ) 小学校、中学校、高等学校のいずれかの教諭普通免許状所有者 |
| 小学校教諭等（理数枠） | (ア) 小学校教諭普通免許状所有者 (イ) 中学校理科、高等学校理科、中学校数学、高等学校数学のいずれかの教諭普通免許状所有者 ※ 出願時に理科又は数学を選択する。なお、選択できる教科は当該免許状を所有（取得見込みも含む。）している教科に限る。 |
| 小学校教諭等（英語枠） | (ア) 小学校教諭普通免許状所有者 (イ) 中学校英語又は高等学校英語の教諭普通免許状所有者又は各資格・検定において、<表1> (P.15) に示す基準のいずれかを満たしている者 |
| 小学校教諭等（地域枠） 中学校教諭等（地域枠） 養護教諭（地域枠） | 出願する校種・職種、教科等の教諭普通免許状の所有に加え、津山市・高梁市・新見市・真庭市・美作市・新庄村・鏡野町・勝央町・奈義町・西粟倉村・久米南町・美咲町で原則として採用後10年以上勤務可能である者 |
| 小学校教諭等（社会人枠） 中学校教諭等（社会人枠） 特別支援学校教諭等（社会人枠） | 出願する校種、教科等の教諭普通免許状の所有に加え、同一の民間企業、官公庁等（教職以外）において、正規職員として2年以上継続勤務しており、出願時も勤務している者 ※ 第2次試験の結果、採用候補者として登録された場合には、職務経験を証明する在職証明書を提出すること。 |
| 中学校教諭等と 高等学校教諭等の併願 | 国語、数学、英語、保健体育、音楽、美術、家庭の教科（科目）のみ併願可。 ただし、併願する教科（科目）は同一であること。 (ア) 中学校の当該教科（科目）の教諭普通免許状所有者 (イ) 高等学校の当該教科（科目）の教諭普通免許状所有者 ※ 中学校教諭等（地域枠）又は中学校教諭等（社会人枠）を第1志望とする場合、並びに「 7 特別選考試験 」(P.9～)に出願する場合は、併願不可。中学校教諭等（地域枠）又は中学校教諭等（社会人枠）を第2志望とすることも不可。 |

なお、高等学校の美術は、デザインの教諭普通免許状所有者も出願が可能である。

- 3 昭和40年4月2日以降に生まれた者
- 4 身体障害者手帳の交付を受け、障害の程度が1級から6級までの者は、身体に障害のある者を対象とした選考に出願することができる。

4 選考する校種・職種及び採用候補者見込数

| 校種・職種 | 採用候補者見込数 | 教科(科目)等の区分 | 区分別の採用候補者見込数 |
|---|--------------------------------------|---|--|
| 小学校教諭等 (小学校教諭等(理数枠) 小学校教諭等(英語枠) 小学校教諭等(地域枠) 小学校教諭等(社会人枠)) | 180名 (25名 30名 30名 20名) | | |
| 中学校教諭等 (中学校教諭等(地域枠) 中学校教諭等(社会人枠)) | 90名 (15名 10名) | 国語 社会 学 数 理 音 楽 美 術 保 健 体 育 技 術 家 庭 英 語 | 16名 13名 15名 10名 4名 5名 7名 4名 3名 13名 |
| 高等学校教諭等 | 80名 | 国語 地理歴史 [世界史] 地理歴史 [日本史] 地理歴史 [地理] 公民学 数 理 科 [物 理] 理 科 [化 学] 理 科 [生 物] 保 健 体 育 芸 術 [音 楽] 芸 術 [美 術] 芸 術 [書 道] 英 家 庭 語 農 業 工 業 [機 械] 工 業 [電 気 (電 子 ・ 情 報 系 を 含 む)] 工 業 [化 学] 工 業 [土 木] 工 業 [建 築] 工 業 [特D① (専 門 分 野 は 限 定 し な い)] 商 業 看 護 | 10名 2名 2名 2名 1名 10名 4名 2名 2名 6名 1名 1名 1名 10名 6名 1名 10名 5名 4名 |
| 特別支援学校教諭等 (特別支援学校教諭等(社会人枠)) | 45名 (3名) | | |
| 養護教諭 (養護教諭(地域枠)) | 8名 (2名) | | |
| 栄養教諭 | 1名 | | |
| 合計 | 404名 | | |

| | | |
|-------------------|-----|--|
| 身体に障害のある者を対象とした選考 | 若干名 | 身体障害者手帳の交付を受け、障害の程度が1級から6級までの者を対象に、上記全ての校種・職種で選考を行う。 |
|-------------------|-----|--|

- 注意 (1) 採用候補者見込数は現時点での予定であり、今後退職者等の状況により変更することがある。
- (2) 各枠(理数枠、英語枠、地域枠、社会人枠)の採用候補者見込数は、各校種・職種の採用候補者見込数の内数であり、それぞれの上限とする。
- (3) 各枠の採用候補者とならなかった場合でも、出願した校種・職種の中で、枠以外の者と合わせて更に選考し、採用候補者となる場合がある。
- (4) 高等学校教諭等の工業については、工業[機械]、工業[電気(電子・情報系を含む)]、工業[化学]、工業[土木]、工業[建築]及び工業[特別選考D①(専門分野は限定しない)]を合わせた採用候補者見込数である。
- (5) 所有免許状に相当する学校種別により、いずれか一つの校種・職種、教科(科目)等を選択すること。
- (6) 小学校教諭等、小学校教諭等(理数枠)、小学校教諭等(英語枠)、小学校教諭等(地域枠)、小学校教諭等(社会人枠)、中学校教諭等、中学校教諭等(地域枠)、中学校教諭等(社会人枠)又は高等学校教諭等の区分で採用候補者となった場合でも、特別支援学校に配属される場合がある。
- (7) 小学校教諭等、小学校教諭等(理数枠)、小学校教諭等(英語枠)、小学校教諭等(地域枠)、小学校教諭等(社会人枠)、中学校教諭等、中学校教諭等(地域枠)又は中学校教諭等(社会人枠)の区分で採用候補者となった場合でも、義務教育学校に配属される場合がある。
- (8) 中学校教諭等、中学校教諭等(社会人枠)又は高等学校教諭等の区分で採用候補者となった場合でも、中等教育学校に配属される場合がある。
- (9) 将来、人事異動により、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校又は特別支援学校の間で、異動する場合がある。

出願は、「**電子申請（インターネット）**」で行うこと。

1 出願方法

「5.3 出願要領」で、詳しい申込手続を確認して出願すること。

※ 申込みは、一人1回とする。複数回申込みをしないこと。

なお、「5.4 郵送又は持参が必要な書類」(P.5)がある場合は、速やかに郵送又は持参すること。

また、適切に申請が完了した場合は、「整理番号」を示したメールが登録したメールアドレスに届くので、整理番号は必ず控えておくこと。受験番号及び受験会場の確認の際に必要となる。

2 受付期間

令和6年4月15日(月)～令和6年5月14日(火)

ただし、提出先において受付期間最終日の午後5時までに申請データの到着が確認できない場合は、出願者が受付期間最終日の午後5時までに手続きを完了できていても受け付けないので注意すること。また、添付ファイルの内容等に不備がある場合は受け付けないことがあるので、十分に確認すること。

なお、締切り間際になると、電子申請サービスが混雑し、システムに繋がりにくくなるおそれがあるので、早めに出願すること。また、受付期間中であっても、システム管理のため、一時的に使用できないことがあるので注意すること。

電子申請についての問い合わせ先 岡山県教育庁教職員課 電話(086)226-7915

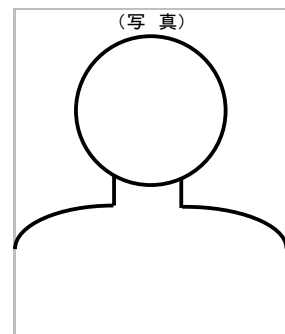
3 出願要領

(1) 事前準備

電子申請による出願手続には、次のものが必要となるので、事前に準備しておくこと。

- ① 教員免許状に関する情報 ※P16参照
- ② 自己推薦に関する内容 ※P16参照
 - ・自己アピール [500字以内]
 - ・専門の教科や領域に関して努力していること [200字以内]
 - ・部活動・ボランティア活動・JICAボランティア事業への参加等の内容や実績 [250字以内]
- ③ 高等学校(中等教育学校)卒業以降の学歴・職歴・賞罰に関する情報
- ④ 添付書類等…以下の表のとおり

(写真の見本)



| 添付する書類等 | 規格 ※注 | ファイル名 |
|--|---|---|
| 出願者の顔写真 以下の写真を準備すること。 <input type="checkbox"/> 本人のみ上半身が撮影されたもの <input type="checkbox"/> 申込前3か月以内に撮影されたもの <input type="checkbox"/> 無帽で正面を向いたもの <input type="checkbox"/> 背景や影がないもの <input type="checkbox"/> 受験時に眼鏡を着用する場合は、必ず眼鏡を着用したもの <input type="checkbox"/> 右記の規格であること | 画像ファイル <input type="checkbox"/> JPEG 又は JPG 形式 <input type="checkbox"/> 縦横比が縦4：横3 <input type="checkbox"/> データサイズは2MB 以内 | ローマ字氏名生年月日 photo とすること。 例) 岡山次郎 S63.1.4 生 ⇒ okayamajiro19880104photo |
| 特別選考に係る書類 *特別選考で出願する者のみ (特別選考C①・E①・E②・Gで出願する者は郵送するため、除く) (第1次試験で持参が必要な原本は7.4参照) | 書類を作成し電子データ [PDF 形式] に変換したもの (複数ある場合は、1つのファイルにまとめる) | ローマ字氏名生年月日 tokusen とすること。 例) 岡山次郎 S63.1.4 生 ⇒ okayamajiro19880104tokusen |
| 英語の資格に関する、実施団体が発行する資格証明書又は資格を証明できる書類 *該当者のみ (原本は第1次試験で持参(6.1(5)参照)) | 書類を電子データ [PDF 形式] に変換したもの | ローマ字氏名生年月日 eigo とすること。 例) 岡山次郎 S63.1.4 生 ⇒ okayamajiro19880104eigo |
| 情報の資格に関する、実施団体が発行する資格証明書又は資格を証明できる書類 *該当者のみ (原本は第1次試験で持参(6.1(5)参照)) | 書類を電子データ [PDF 形式] に変換したもの | ローマ字氏名生年月日 joho とすること。 例) 岡山次郎 S63.1.4 生 ⇒ okayamajiro19880104joho |

※注 書類を写真に撮った後、その写真を各形式に変換する方法は推奨しない。

- ⑤ メールアドレス (登録及び受付完了メールの受信用)

岡山県教育庁教職員課のホームページにある「入力準備シート」を事前に作成すると、入力の際、複製・貼付けに活用できます。

(2) 電子申請の手順

① 実施要項の用意

電子申請を行う前に、「実施要項」（この冊子）をよく読んで、試験の内容を確認すること。（ホームページ上で閲覧している場合は、印刷して手元に置くことを推奨する。）

② 電子申請サービスの利用者登録

電子申請による手続きを行うには、電子申請サービスの利用者登録（ID及びパスワード取得）が必要となる。（既に登録している場合は、新規の登録は不要。）下記のページにアクセスし、画面右上にある「利用者登録」から登録を行うこと。（登録には、メールアドレスが必要。**電子申請サービスから届くメールが受信できるよう、各自の責任においてメールの設定を適切に行うこと。**）

※ここで登録したメールアドレスが、そのまま利用者IDになる。

岡山県電子申請サービス (https://apply.e-tumo.jp/pref-okayama-u/offer/offerList_initDisplay.action)

※岡山県教育庁教職員課のホームページからもアクセス可能。

③ 入力上の注意等

- ・電子申請サービスには、**入力時間が設定されており、入力時間（約50分）を超えると破棄され、再度入力が必要となる。**「操作時間延長」（入力ページの右部にある。）や、「入力中のデータを保存する」（入力ページの下部にある。）を適宜活用すること。保存後は、再度ログインし、「保存データの読み込み」（入力ページの下部にある。）を活用し、未入力部分を継続して入力する。
- ・氏名や住所、文字等を入力する際は、環境に依存しない文字（JIS第一水準漢字又はJIS第二水準漢字）で入力すること。（利用できない文字例：高、崎など。）なお、ローマ数字（Ⅰ、Ⅱ、…）も環境に依存する文字であり使用できないので、算用数字（1、2、…）に置き換えること。

④ 電子申請の実行

②により取得したID及びパスワードを使って、岡山県電子申請サービスにログインする。ログイン後、「令和7年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験」を選択し、「手続き申込」画面に進む。申込画面の指示に従って必要事項を入力する。（検索メニューの「手続き名」に「教員採用候補者選考試験」と入力して「検索」を行う。）

最後に、入力内容を確認し、「申し込む」をクリックする。

郵送又は持参が必要な書類がある場合（54参照）は、別途、受付期間内に提出すること。

⑤ 審査完了の確認

入力データの到着後、添付ファイル及び別途提出する書類等に不備がなければ、6月上旬までに審査完了メールを送るので、随時確認すること。この際、利用者登録時に入力したメールアドレスに誤りがある場合は審査完了の確認ができないので、十分に注意すること。また、メールに記載されている「整理番号」は必ず控えておくこと。整理番号は、受験番号及び受験会場等の確認の際に必要となる。

なお、審査完了のメールと、特別選考の決定とは異なるので注意すること。審査完了のメールが届いた後でも、記載内容に疑義がある場合は、連絡することがある。

整理番号メモ:

(3) 申請後に必要な準備

| 作成するもの | 作成方法等 |
|---|---|
| ① 受験票の作成 ※試験当日に持参 | 「実施要項」にある受験票、又は岡山県教育庁教職員課のホームページから受験票をダウンロードし、 <u>はがき程度の大きさ・厚さの紙に印刷したもの。</u> <u>受験番号及び第1次試験会場等の必要事項を記入の上、出願時に添付した写真と同じ写真を貼り付ける。</u> |
| ※受験番号及び第1次試験会場等は6月14日(金)頃に岡山県教育庁教職員課のホームページに示す。 ホームページに自身の受験番号がない場合や掲載内容に疑義がある場合は、6月21日(金)までに岡山県教育庁教職員課まで連絡すること。 | |
| ② 返信用封筒の作成 ※受験する第1次試験の初日に持参 ※第1次試験免除者は出願時に郵送又は持参 | (P.5参照) <input type="checkbox"/> 長形3号(120mm×235mm)のワンタッチシール封筒1枚 <input type="checkbox"/> 郵便番号、送付先住所、宛名(最後に必ず「様」を付ける。)を明記 <input type="checkbox"/> 「簡易書留」と朱書き、434円分切手を貼付 <input type="checkbox"/> 左下に受験番号を記入(特別選考C①・E①・E②・Gは不要) 送付先住所は、8月7日(水)以降に、第1次試験の結果通知を受け取ることが可能な住所とすること。 |
| ③ 「郵送又は持参が必要な書類」の提出 | (54参照) 受付期間内(54(3)参照)に提出 |

(4) その他

電子申請で入力欄が不足する場合の対応

- ・教員免許状を11種類以上所有（取得見込みを含む。）する場合は、出願校種（教科）・職種のものから優先的に入力し、入力しきれないものについては、入力欄不足用の様式（P.18）に記入し提出する。
- ・懲戒処分等の記載事項が4項目以上ある場合は、年月日の古いものから順次3項目まで入力し、入力しきれないものについては、入力欄不足用の様式（P.18）に記入し提出する。
- ・履歴事項が68項目以上ある場合は、高等学校（中等教育学校）卒業以降、順次67項目まで入力し、入力しきれない部分については、入力欄不足用の様式（P.18）に記入し提出する。

4 郵送又は持参が必要な書類について

(1) 該当者及び提出書類

| 該当者 | 提出する書類 |
|--|--|
| (ア) 入力欄が不足する者（教員免許状） | 53(4)のとおり |
| (イ) 入力欄が不足する者（懲戒処分等） | 53(4)のとおり |
| (ウ) 入力欄が不足する者（履歴事項） | 53(4)のとおり |
| (エ) 「 身体に障害のある者を対象とした選考 」に出願する者 | ・身体障害者手帳の写し |
| (オ) 特別選考C①・E①・E②・Gに出願する者 | ・53(3)②で作成した返信用封筒 ・出願する特別選考に係る提出書類 (7)4のとおり |

(2) 提出先（校種・職種によって提出先が異なるので注意すること。）

| 校種・職種 | 提出先 |
|---|--|
| 小学校教諭等、小学校教諭等(理数枠)、 小学校教諭等(英語枠)、小学校教諭等(地域枠)、 小学校教諭等(社会人枠) | 〒708-8510 津山市山下53 津山教育事務所義務教育支援課 TEL (0868)24-8705 |
| 中学校教諭等、 中学校教諭等(地域枠)、 中学校教諭等(社会人枠) | 〒700-8678 岡山市北区石関町2-1 岡山教育事務所義務教育支援課 TEL (086)221-7751 |
| 高等学校教諭等、 特別支援学校教諭等、特別支援学校教諭等(社会人枠)、 養護教諭、養護教諭(地域枠)、 栄養教諭 | 〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6 岡山県教育庁教職員課 TEL (086)226-7915、7581、7582 |

注意：郵送の場合は、封筒の表に「教員採用試験出願書類在中」（には、校種（教科）・職種のいずれかを記入）と**朱書し、簡易書留で郵送すること（厳守）**。

さらに、「7 特別選考試験」に出願する場合は「特別選考」と**朱書**すること。

(3) 受付期間

令和6年4月15日(月)～令和6年5月14日(火)

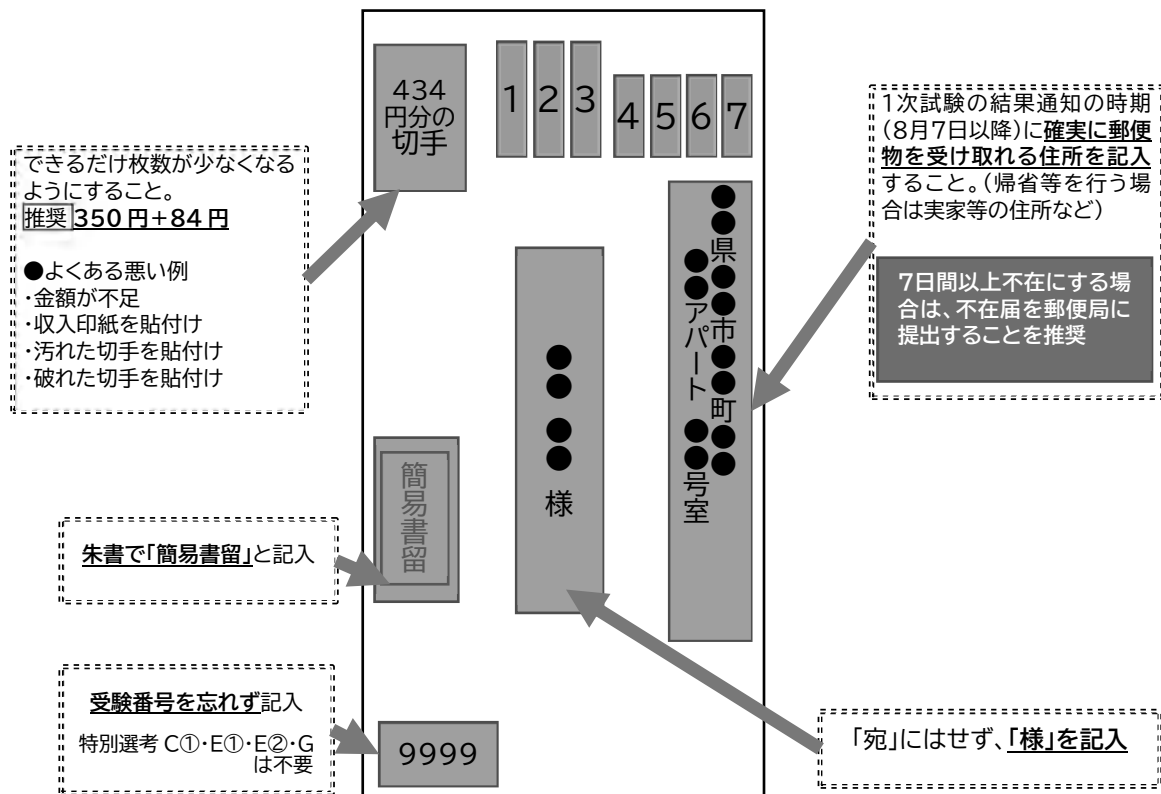
持参の場合は、土・日曜日、祝日を除く午前8時30分から午後5時までとする。

郵送の場合は、令和6年5月14日(火)の消印があるものまで有効とする。なお、簡易書留で郵送せず郵便事故に遭った場合の責任は負わない。

返信用封筒の作成方法（第1次試験）

□封筒のサイズ：長形3号(120mm×235mm)

□封筒の種類：ワンタッチシール封筒 **注意!**



6 選考試験の日程・会場・内容及び携行品等

選考試験は、第1次試験及び第2次試験を行う。

受験者が日時の希望や変更をすることはできない。また、第1次試験、第2次試験ともに、受験すべき試験等を一つでも受験しなかった場合は、その後に実施される試験等を受験することはできない。

試験会場及び会場周辺への自家用車の乗り入れ、無断駐車、送迎は固く禁止する。

1 第1次試験

- (1) **受験者**： 出願者全員（特別選考C①、E①、E②、Gの出願者として受け付けた者を除く。）が受験する。
身体に障害のある者を対象とした選考においては、障害の種類・程度に応じた受験上の配慮を行う。
- (2) **実施日**： 令和6年7月6日（土）・7日（日）・13日（土）・14日（日）
- (3) **会場**： 指定した会場で受験する。

| 対象者 | 受験会場の指定方法 |
|---|--|
| 7 特別選考試験で受験しない者及び 7 特別選考試験 [C②]、[F] で受験する者 | 第1次試験の筆記試験会場を6月14日（金）頃に岡山県教育庁教職員課のホームページに示す。（注1） |
| 7 特別選考試験で受験する者（C①、C②、E①、E②、F、Gを除く。） | 第1次試験の特別面接試験会場を6月14日（金）頃に岡山県教育庁教職員課のホームページに示す。 |

（注1） **第1次試験における個人面接の日時は、第1次試験の筆記試験会場です。**

(4) 試験内容等一覧

| 校種・職種 | 日時 | | 7月7日（日） | 7月13日（土） | 7月14日（日） |
|---|--------------------------------------|--|----------------------|-----------------------------------|----------|
| | 7月6日（土） 9:40～12:40 | 会場 | | | |
| 岡山芳泉高校、東岡山工業高校 岡山大安寺中等教育学校、西大寺高校 | 岡山朝日高校 東岡山工業高校 岡山大安寺中等教育学校 | 水島工業高校 | 岡山県庁分庁舎 | | |
| 小学校教諭等 小学校教諭等（理数枠） 小学校教諭等（英語枠） 小学校教諭等（地域枠） 小学校教諭等（社会人枠） | 教科専門試験 （100点・60分） *記述式 （注2） | 教職教養 試験 （60点・40分） *マークシート式 | 特別面接 （注4） （注5） | 面接 （個人面接・特別面接） （注3）（注4）（注5） | |
| 中学校教諭等 中学校教諭等（地域枠） 中学校教諭等（社会人枠） | | | | | |
| 高等学校教諭等 | | | | | |
| 特別支援学校教諭等 特別支援学校教諭等（社会人枠） | | | | | |
| 養護教諭 養護教諭（地域枠） | | | | | |
| 栄養教諭 | | | | | |
| 特別支援教育に関する専門試験 （100点・60分） *記述式 | 養護に関する専門試験 （100点・60分） *記述式 | 食育及び学校給食に関する専門試験 （100点・60分） *記述式 | | | |

（注2） 小学校教諭等（理数枠）の教科専門試験の総問題数は、小学校教諭等と同程度であるが、理科又は数学（出願時にいずれかを選択）から出題する割合が高い。

小学校教諭等（英語枠）の教科専門試験の総問題数は、小学校教諭等と同程度であるが、英語から出題する割合が高い。

高等学校教諭等「地理歴史」の教科専門試験には、公民の分野からも基礎的な内容の問題を一部出題する。

高等学校教諭等「公民」の教科専門試験には、地理歴史の分野からも基礎的な内容の問題を一部出題する。

（注3） **小学校教諭等（全ての枠を含む。）、中学校教諭等（全ての枠を含む。）、特別支援学校教諭等（社会人枠を含む。）、養護教諭（地域枠を含む。）、栄養教諭の個人面接は7日、高等学校教諭等の個人面接は13日に実施する。**

（注4） 特別選考A、B、Dの受験者は、個人面接に代えて、特別面接を行う。また、特別選考Fの受験者は、個人面接を免除する。**なお、全校種・職種における特別面接は、6、7、13、14日のいずれか指定する日で行う。**

（注5） 小学校教諭等（地域枠）、小学校教諭等（社会人枠）、中学校教諭等（地域枠）、中学校教諭等（社会人枠）、特別支援学校教諭等（社会人枠）、養護教諭（地域枠）の出願者に対しては、個人面接又は特別面接の中で志願する枠に関するプレゼンテーションを実施する。ただし、特別選考C①、E①、E②、F、Gの受験者は除く。

(5) 試験当日の携行品 (※ 下記以外の物は試験で使用することはできない。)

| 対象者 | 携行品 |
|---|--|
| 全員 | <input type="checkbox"/> 受験票 <input type="checkbox"/> 筆記用具 (マークシート用にHBの鉛筆を含む。)、定規、消しゴム <input type="checkbox"/> 上履き、下履きを入れる袋 (注6) <input type="checkbox"/> 返信用封筒 (53(3)②を参照) (注7) |
| 小学校 (地域枠)、小学校 (社会人枠) 中学校 (地域枠)、中学校 (社会人枠) 特別支援学校 (社会人枠) 養護教諭 (地域枠) | <input type="checkbox"/> 面接試験で実施するプレゼンテーションに必要な準備物 (61(6)を参照) |
| 小学校 (英語枠) | <input type="checkbox"/> 資格証明書等の原本等 (該当者のみ) |
| 小学校 (理数枠)「数学」 | <input type="checkbox"/> コンパス |
| 中学校・高等学校「数学」 | <input type="checkbox"/> コンパス |
| 中学校「技術」 | <input type="checkbox"/> 三角定規 (目盛りの付いたもの一組)、コンパス、分度器 |
| 英語の資格による加点申請者 | <input type="checkbox"/> 資格証明書等の原本等 (83を参照) |
| 情報の資格による加点申請者 | <input type="checkbox"/> 資格証明書等の原本等 (84を参照) |
| 高等学校「工業[機械、電気、化学、土木、建築]」 | <input type="checkbox"/> 電卓 (関数機能の付いたもの) ※ポケットコンピュータ不可 |
| 高等学校「商業」 | <input type="checkbox"/> そろばん又は電卓 (計算機能のみのもの) |
| 身体に障害のある者を対象とした選考 | <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 |
| 特別選考 | <input type="checkbox"/> 証明書等の原本等 (74を参照) |

(注6) 岡山県庁分庁舎が試験会場となった場合、上履き、下履きを入れる袋は不要

(注7) 特別面接を受験する者は、面接の際に提出すること。

(6) 第1次試験の面接試験 (個人面接・特別面接) で実施するプレゼンテーション

| |
|---|
| <p>1 目的 地域枠・社会人枠の出願者に、志願する枠への志望動機やこれまでの活動実績、将来取り組みたいことについて、出願者によるプレゼンテーションを含めた面接試験を実施することにより、志願する枠に対する「使命感・意欲的態度」等の評価に資する。</p> <p>2 対象者 小学校教諭等 (地域枠)、小学校教諭等 (社会人枠)、中学校教諭等 (地域枠)、中学校教諭等 (社会人枠)、特別支援学校教諭等 (社会人枠)、養護教諭 (地域枠) に出願する者 ※特別選考C①、E①、E②、F、Gに出願する者は除く。</p> <p>3 志願者の準備物 (面接試験当日に持参する) ① プレゼンテーション用資料<掲示用> A1サイズ (594mm×841mm) 1枚 (A3サイズ (297mm×420mm) の用紙を4枚貼り合わせる形式も可) ② ①の資料をA4サイズ (210mm×297mm) に縮小した資料 3枚 ※資料の体裁・項目は任意とするが、「枠に関するこれまでの活動実績」は必ず記載し、プレゼンテーションの内容に入れること。なお、個人情報の扱いについて十分に配慮すること。</p> <p>4 実施方法 ・個人面接又は特別面接の冒頭3分以内で実施する。 ・志願者は所定の掲示場所に3①を掲示し、立ってプレゼンテーションを実施する。 (プレゼンテーションを実施する場所から、試験官までは概ね3メートル程度) ・プレゼンテーション終了後着席し、プレゼンテーションの内容や出願資料を踏まえた個人面接又は特別面接を実施する。</p> <p>5 その他 ・3に示す準備物以外 (ポインター、指示棒、筆記用具など) を使用することはできないが、説明用のメモは使用できることとする。</p> |
|---|

2 第2次試験

- (1) **受験者**： 第2次試験の受験資格を得た者が受験する。
 身体に障害のある者を対象とした選考においては、障害の種類・程度に応じた受験上の配慮を行う。
- (2) **実施日**： **令和6年8月17日（土）～21日（水）、24日（土） ※左記期間中、2～3日を指定する。**
- (3) **会場**： 指定した会場で受験する。
 第2次試験の試験会場は、第2次試験の受験資格を得た者に対し、第1次試験の結果通知の際に指定する。

(4) **試験内容等一覧**

| | |
|-------|--|
| 月日 | 令和6年8月17日（土）～21日（水）、24日（土） |
| 会場 | 岡山東商業高校、岡山南高校、岡山工業高校 鳥城高校、岡山県生涯学習センター、岡山県庁分庁舎 |
| 校種・職種 | 小学校教諭等 小学校教諭等(理数枠) 小学校教諭等(英語枠) 小学校教諭等(地域枠) 小学校教諭等(社会人枠) 中学校教諭等 中学校教諭等(地域枠) 中学校教諭等(社会人枠) 高等学校教諭等 特別支援学校教諭等 特別支援学校教諭等(社会人枠) 養護教諭 養護教諭(地域枠) 栄養教諭 |
| | グループワーク 個人面接 特別面接（特別選考E①・E②のみ） 実技（該当者のみ） 模擬授業・口頭試問 （養護教諭の区分の受験者には、模擬場面指導・口頭試問を実施する。） |

(5) **実技の対象者・内容**

| 区分 | 対象者 | 内容 |
|-----|--------------|---|
| 体 育 | 小学校 | 器械運動（マット運動） [開脚前転 → 前転 → 後転 → 側方倒立回転] ボール運動（バスケットボール） [ボールをボードに当てジャンプしてキャッチ → ドリブル → レイアップシュート] |
| | 中学校「保健体育」 | 陸上競技、器械運動、球技、武道(柔道又は剣道)、ダンス |
| | 高等学校「保健体育」 | 陸上競技、器械運動、球技、武道(柔道又は剣道)又はダンス |
| 音 楽 | 中学校・高等学校「音楽」 | ①全訳コールユーブンゲン(第1巻)No.18～No.35(原書番号)のうちから1曲、No.48～No.59(原書番号)のうちから1曲を当日指定する。 ②「赤とんぼ」、「早春賦」、「夏の思い出」、「花」、「浜辺の歌」のうち、当日指定する歌唱教材をピアノで弾き歌いする。 (各自で楽譜を持参してよい。移調も可。) ③アルト・リコーダーによる新曲視奏 |
| 美 術 | 中学校・高等学校「美術」 | 平面構成 |
| 書 道 | 高等学校「書道」 | 漢字かな交じりの書、漢字、かな |
| 家 庭 | 中学校・高等学校「家庭」 | 被服、食物 |

(6) **試験当日の携行品**（※ 下記以外の物は試験で使用することはできない。）

| 対象者 | 携行品 |
|----------------|--|
| 全員 | 受験票、筆記用具、定規、消しゴム、上履き、下履きを入れる袋(注8) |
| 小学校 | 体育実技のできる服装、体育館用シューズ(上履きとは別のもの) |
| 中学校・高等学校「保健体育」 | 体育実技のできる服装、体育館用シューズ(上履きとは別のもの)、屋外シューズ、柔道着(武道で柔道を選択する者) |
| 中学校・高等学校「音楽」 | アルト・リコーダー、(5)②の楽譜(必要とする者のみ) |
| 中学校・高等学校「美術」 | 水彩絵の具、ポスターカラー、パレット、筆、筆洗、コンパス、はさみ、デッサン用鉛筆、練りゴム又は消しゴム、計り棒(必要とする者のみ)、作業着(必要とする者のみ)、筆ふき用の布 |
| 高等学校「書道」 | すずり、墨(墨汁可)、筆(大、中、小、かな用)、下敷(条幅用を含む。)、文鎮、練習用紙 |
| 中学校・高等学校「家庭」 | 裁縫用具、調理のできる服装 |

(注8)岡山工業高校、鳥城高校、県生涯学習センター又は岡山県庁分庁舎が試験会場となった場合、上履き、下履きを入れる袋は不要

7 特別選考試験

1 受験資格(次の各号のいずれにも該当する者)

- (1) 「3 受験資格」を満たす者。ただし、特別選考A②、Dについては、出願する校種・職種、教科等の教諭普通免許状を有しない者又は当該免許状を取得見込みでない者も出願することができる。
- (2) 各特別選考の出願要件を満たす者。ただし、複数の特別選考に出願することはできない。

2 出願手続…5による。

3 審査

特別選考に係る提出書類により審査を行う。

審査の結果、特別選考の対象となった者には、試験の一部免除等の措置を行う。

また、特別選考の対象とならなかった者は、一般の教員採用候補者選考試験の出願者として受け付ける。(中・高の併願はできない。)

ただし、特別選考A②、Dで出願した者で、一般の教員採用候補者選考試験の出願者として受け付けることができるのは、出願する校種・職種、教科等の教諭普通免許状所有者又は令和7年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者に限る。

なお、書類審査の結果については、受験番号等発表の際に合わせて発表する。

4 特別選考の種別

各特別選考の対象となる校種等や出願要件、提出書類、試験の免除等については、次のとおりとする。

[A①] 特別選考A① [英語の資格による特別選考(グローバル人材)]

| | |
|-------------|--|
| 校種等 | 中学校の英語・高等学校の英語 |
| 特別選考出願要件 | 各資格・検定において、<表1>(P.15)に示す基準を満たす者 |
| 特別選考に係る提出書類 | ・特別選考調書<様式ア> ・各資格・検定実施団体が発行する資格証明書又は資格を証明できる書類の写し(出願時に写しを提出した上で、第1次試験の面接時に原本を持参する。) |
| 試験の免除等 | 第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。 |

[A②] 特別選考A② [英語を母語とする者を対象とした特別選考(グローバル人材)]

| | |
|-------------|---|
| 校種等 | 小学校(英語専科)・中学校の英語・高等学校の英語 |
| 特別選考出願要件 | 次の要件を全て満たす者 ① 英語を母語とする者(国籍は問わない。) ② 日本国内の国公立学校(学校教育法第1条及び第2条による。)で、英語の指導に関する3年以上の教職経験がある者又は2年以上の教職経験があり出願時も勤務している者 ③ 職務を行う上で必要とされる日本語能力を有する者 |
| 特別選考に係る提出書類 | ・特別選考調書<様式ア> |
| 試験の免除等 | 第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。 第2次試験は、個人面接と模擬授業のみを実施する。 |
| その他 | ・出願する校種・職種、教科等の教諭普通免許状を有しない者又は当該免許状を取得見込みでない者が採用候補者として登録された場合には、岡山県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。 ・小学校で出願する場合は、出願時に第2志望として中学校[英語]を選択したものとみなす。 ・第2次選考の結果、採用候補者として登録された場合には、職務経験を証明する在職証明書を提出すること。 ・採用に当たっては、採用候補者となった校種と異なる校種に配属される場合がある。 |

[B] 特別選考B [スポーツの実績による特別選考]

| | |
|-------------|---|
| 校種等 | 中学校の保健体育・高等学校の保健体育 |
| 特別選考出願要件 | 令和3年4月1日以降、国際レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会等)に日本代表として出場し、8位以上の成績を収めた者又は全国規模の大会(日本選手権大会、国民体育大会、全日本学生選手権等)においてベスト4以上の成績を収めた者。ただし、いずれの場合も高等学校在籍以前の成績は含まず、団体種目は正選手であった者に限る。 なお、対象となる競技は次のいずれかに該当する競技とする。 ・特別国民体育大会の正式競技及び特別競技 ・岡山県高等学校体育連盟に加盟する競技 ・岡山県中学校体育連盟に加盟する競技 |
| 特別選考に係る提出書類 | ・特別選考調書<様式ア> ・大会の賞状の写し又は競技団体が発行する成績証明書の写し(団体種目の場合は正選手であったことを証明できるもの)(出願時に写しを提出した上で、第1次試験の面接時に原本を持参する。) |
| 試験の免除等 | 第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。 |

【C①】 特別選考C① [講師経験者を対象とした特別選考 (前年度第1次試験合格者)]

| | | | | | | | | | | | |
|--------------------|--|--------------------|-------------|-----|-------|--|------------|----------|-------|--|------------|
| 校種等 | 全ての校種・職種 | | | | | | | | | | |
| 特別選考出願要件 | <p>次の要件を全て満たす者</p> <p>① 令和6年度(令和5年実施)岡山県公立学校教員採用候補者選考試験で、第1次試験の結果、第2次試験の受験資格を得た者。ただし、特別選考C①[講師経験者を対象とした特別選考]又は特別選考G[「理数系教員養成拠点構築プログラム」修了者を対象とした特別選考]で受験した者を除く。</p> <p>② 令和6年度、常勤講師等又は非常勤講師として岡山県の公立学校等で勤務し、出願時に所属長の推薦を得た者</p> <p>※ 「常勤講師等」とは、常勤講師、養護助教諭(市立高等学校に勤務する週37.5時間勤務の者を含む。)、実習助手(兼講師の者のみ)、育児短時間勤務のための任期付短時間勤務職員をいう。</p> <p>※ 「非常勤講師」は、県費負担の非常勤講師に限る。</p> <p>※ 「岡山県の公立学校等」とは、県立の中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び市町村(組合)立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校並びに岡山大学教育学部附属の小学校、中学校、特別支援学校をいう。ただし、岡山市立の小学校、中学校、義務教育学校は除く。</p> <p>※ 「勤務」とは、令和6年4月1日から52の受付期間の最終日までの間に、勤務実績がある場合をいう。</p> <p>※ 特別選考の対象となる校種・職種及び教科(科目)等は、(注1)令和6年度(令和5年実施)の試験で受験したものと同一(中高併願で出願した者は、第2次試験の受験資格を得た校種・職種)とするが、(注2)令和6年度、常勤講師等又は非常勤講師として勤務している学校の校種・職種及び教科(科目)等は問わない。</p> <p>(注1)例：地理歴史(世界史)での第1次試験合格者は、地理歴史(世界史)の特別選考の対象となり、地理歴史(日本史)の特別選考の対象とはならない。 <u>高等学校の地理歴史・理科・芸術・工業において同様の取扱いとする。</u></p> <p>(注2)例：中学校教諭等(国語)の特別選考に出願する場合であっても、令和6年度に勤務している学校は、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校のいずれも可とする。</p> <p>※ 令和6年度の試験において、英語枠、理数枠、地域枠、社会人枠で第2次試験の受験資格を得た者が令和7年度特別選考C①で出願する際には、同一の枠にのみ出願できる。(同一校種及び教科(科目)であっても、枠を越えての出願はできない。)</p> <p>例：小学校</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>令和6年度試験での第1次試験合格校種</td> <td>令和7年度の出願可能先</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>○ 小学校</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 小学校(地域枠)</td> </tr> <tr> <td>小学校(地域枠)</td> <td>× 小学校</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 小学校(地域枠)</td> </tr> </table> | 令和6年度試験での第1次試験合格校種 | 令和7年度の出願可能先 | 小学校 | ○ 小学校 | | × 小学校(地域枠) | 小学校(地域枠) | × 小学校 | | ○ 小学校(地域枠) |
| 令和6年度試験での第1次試験合格校種 | 令和7年度の出願可能先 | | | | | | | | | | |
| 小学校 | ○ 小学校 | | | | | | | | | | |
| | × 小学校(地域枠) | | | | | | | | | | |
| 小学校(地域枠) | × 小学校 | | | | | | | | | | |
| | ○ 小学校(地域枠) | | | | | | | | | | |
| 特別選考に係る提出書類 | <ul style="list-style-type: none"> 特別選考調書<様式イ>(原本を郵送又は持参により提出する。) 令和6年度(令和5年実施)岡山県公立学校教員採用候補者選考試験の第1次試験又は第2次試験の結果通知の写し(郵送又は持参により提出する。) | | | | | | | | | | |
| 試験の免除等 | 第1次試験を免除する。 | | | | | | | | | | |

【C②】 特別選考C② [講師経験者を対象とした特別選考 (経験年数)]

| | |
|-------------|--|
| 校種等 | 全ての校種・職種 |
| 特別選考出願要件 | <p>次の要件を全て満たす者</p> <p>① 令和2年4月から令和6年5月までの間に、岡山県の公立学校等で、<u>常勤講師等又は臨時学校栄養職員(常勤に限る。)</u>として、(注3)通算24か月以上の勤務経験を有する者</p> <p>② 令和6年度、常勤講師等、非常勤講師又は臨時学校栄養職員として岡山県の公立学校等で勤務し、出願時に所属長の推薦を得た者</p> <p>※ 「常勤講師等」、「非常勤講師」及び「岡山県の公立学校等」の定義については、特別選考C①[講師経験者を対象とした特別選考(前年度第1次試験合格者)]の特別選考出願要件を参照すること。</p> <p>※ 常勤講師等又は臨時学校栄養職員(常勤に限る。))として、経験年数を通算する際の校種・職種及び教科(科目)等は問わない。</p> <p>※ 令和6年度、常勤講師等、非常勤講師又は臨時学校栄養職員として勤務している学校の校種・職種及び教科(科目)等は問わない。</p> <p>(注3)勤務経験の通算に当たっては、発令期間が月内に1日でもあれば、当該月は経験月として計算する。</p> |
| 特別選考に係る提出書類 | <ul style="list-style-type: none"> 特別選考調書<様式イ>(出願時に写しを提出した上で、第1次試験の筆記試験時に原本を持参する。) |
| 試験の免除等 | 第1次試験において教職教養試験を免除する。 |

[D①] 特別選考D① [民間等のキャリアによる特別選考 (高等学校「工業」)]

| | |
|--------------------------|---|
| 校 種 等 | 高等学校の工業（専門分野は限定しない。） |
| 特 別 選 考 出 願 要 件 | 次のいずれかを満たす者 (1)民間企業、官公庁（教職以外）において、出願時に工業（出願する分野）と関連する3年以上の職務経験を有し、かつ工業（出願する分野）に関する高度な専門的知識・技能を有する者 (2)公立学校の実習助手として、出願時に工業（出願する分野）と関連する7年以上の職務経験を有し、かつ工業（出願する分野）に関する高度な専門的知識・技能を有する者で、出願時に公立学校で実習助手として勤務している者 ※ 「職務経験」の期間とは、正規職員として就業した期間が該当し、複数の職務経験がある場合には、通算することができる。ただし、(1)と(2)の期間を通算することはできない。 |
| 特 別 選 考 に 係 る 提 出 書 類 | ・特別選考調書<様式ア> ・工業（出願する分野）に関する高度な専門的知識・技能を有していることを証明できるもの（資格（技能）を証明できる書類の写し。ない場合は提出不要。）（出願時に写しを提出した上で、第1次試験の面接時に原本を持参すること。） |
| 試 験 の 免 除 等 | 第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。 |
| そ の 他 | ・高等学校工業の教諭普通免許状を有しない者又は当該免許状を取得見込みでない者が採用候補者として登録された場合には、岡山県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。 ・第2次試験の結果、採用候補者として登録された場合には、職務経験を証明する在職証明書を提出すること。 |

[D②] 特別選考D② [民間等のキャリアによる特別選考 (高等学校「看護」)]

| | |
|--------------------------|--|
| 校 種 等 | 高等学校の看護 |
| 特 別 選 考 出 願 要 件 | 看護師免許証を有し、かつ看護師、保健師又は助産師（いずれも正規職員）として出願時に3年以上の実務経験を有する者 |
| 特 別 選 考 に 係 る 提 出 書 類 | ・特別選考調書<様式ア> ・看護師免許証の写し（出願時に写しを提出した上で、第1次試験の面接時に原本を持参すること。） |
| 試 験 の 免 除 等 | 第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。 |
| そ の 他 | ・高等学校看護の教諭普通免許状を有しない者又は当該免許状を取得見込みでない者が採用候補者として登録された場合には、岡山県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。 ・第2次試験の結果、採用候補者として登録された場合には、実務経験を証明する在職証明書を提出すること。 |

[D③] 特別選考D③ [民間等のキャリアによる特別選考 (高等学校「農業」)]

| | |
|--------------------------|---|
| 校 種 等 | 高等学校の農業 |
| 特 別 選 考 出 願 要 件 | 次のいずれかを満たす者 (1)民間企業、官公庁（教職以外）において、出願時に農業と関連する3年以上の職務経験を有し、かつ農業に関する高度な専門的知識・技能を有する者 (2)公立学校の実習助手として、出願時に農業と関連する7年以上の職務経験を有し、かつ農業に関する高度な専門的知識・技能を有する者で、出願時に公立学校で実習助手として勤務している者 ※ 「職務経験」の期間とは、正規職員として就業した期間が該当し、複数の職務経験がある場合には、通算することができる。ただし、(1)と(2)の期間を通算することはできない。 |
| 特 別 選 考 に 係 る 提 出 書 類 | ・特別選考調書<様式ア> ・農業に関する高度な専門的知識・技能を有していることを証明できるもの（資格（技能）を証明できる書類の写し。ない場合は提出不要。）（出願時に写しを提出した上で、第1次試験の面接時に原本を持参すること。） |
| 試 験 の 免 除 等 | 第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。 |
| そ の 他 | ・高等学校農業の教諭普通免許状を有しない者又は当該免許状を取得見込みでない者が採用候補者として登録された場合には、岡山県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。 ・第2次試験の結果、採用候補者として登録された場合には、職務経験を証明する在職証明書を提出すること。 |

[D⑤] 特別選考D⑤ [民間等のキャリアによる特別選考 (中学校・高等学校「英語」)]

| | |
|--------------------|---|
| 校 種 等 | 中学校の英語・高等学校の英語 |
| 特 別 選 考 出 願 要 件 | 民間企業、官公庁（教職以外）において、出願時に日常的に英語を使用する3年以上の職務経験を有し、かつ各資格・検定において、＜表1＞(P.15)に示す基準を満たしている者 ※ 「職務経験」の期間とは、正規職員として就業した期間が該当し、複数の職務経験がある場合には、通算することができる。 |
| 特別選考に係る提出書類 | ・特別選考調書＜様式ア＞ ・各資格・検定実施団体が発行する資格証明書又は資格を証明できる書類の写し（出願時に写しを提出した上で、第1次試験の面接時に原本を持参すること。） |
| 試験の免除等 | 第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。 |
| そ の 他 | ・中学校英語又は高等学校英語の教諭普通免許状を有しない者又は当該免許状を取得見込みでない者が採用候補者として登録された場合には、岡山県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。 ・第2次試験の結果、採用候補者として登録された場合には、職務経験を証明する在職証明書を提出すること。 |

[E①] 特別選考E① [教職経験者を対象とした特別選考 (本県教職経験者)]

| | |
|--------------------|---|
| 校 種 等 | 全ての校種・職種 |
| 特 別 選 考 出 願 要 件 | 本県の公立学校（岡山市立を除く。）の教諭等、養護教諭又は栄養教諭（いずれも正規教員）として、2年以上の勤務経験（受験する校種・職種と同一の勤務経験に限る。）がある者で、出願時に退職日（岡山県教育委員会が行った人事交流の所属先で退職した場合は本県の退職日）から10年を経過していない者 |
| 特別選考に係る提出書類 | ・特別選考調書＜様式ア＞（原本を郵送又は持参により提出する。） |
| 試験の免除等 | 第1次試験を免除する。 第2次試験は、特別面接と口頭試問のみを実施する。 |

[E②] 特別選考E② [教職経験者を対象とした特別選考 (現職教員)]

| | |
|--------------------|---|
| 校 種 等 | 全ての校種・職種 |
| 特 別 選 考 出 願 要 件 | 出願時に国公立学校（県外）、私立学校又は岡山市立の小学校、中学校、義務教育学校に教諭等、養護教諭又は栄養教諭（いずれも正規教員）として勤務し、かつ出願時に2年以上の勤務経験（受験する校種・職種と同一の勤務経験に限る。）がある者 |
| 特別選考に係る提出書類 | ・特別選考調書＜様式ア＞（原本を郵送又は持参により提出する。） |
| 試験の免除等 | 第1次試験を免除する。 第2次試験は、特別面接と口頭試問のみを実施する。 |
| そ の 他 | <ul style="list-style-type: none"> ・第2次試験の結果、採用候補者として登録された場合には、職務経験を証明する在職証明書を提出すること。 ・年度中に複数回の選考試験を行う場合であっても、受験できるのは年度中1回限りとする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>*秋実施の予定* 募集校種：小学校教諭等(理数枠・英語枠・地域枠を含む。)のみ 試験実施日：11月16日(土)、予備日17日(日) 試験内容：特別面接と口頭試問 ・夏の試験を受験した者（特別選考E②以外の選考の受験も含む。）は出願できない ・詳細は別紙「特別選考E②～秋実施について～」に記載</p> </div> |

[F] 特別選考F [「教師への道」研修修了者を対象とした特別選考]

| | |
|--------------------|--|
| 校 種 等 | 全ての校種・職種 |
| 特 別 選 考 出 願 要 件 | 令和5年度に岡山県教育委員会が実施した「教師への道」研修を修了した者。ただし、過去に岡山県（・岡山市）公立学校教員採用候補者選考試験を特別選考Fで受験した者は除く。 |
| 特別選考に係る提出書類 | ・特別選考調書＜様式ア＞ ・「教師への道」研修の修了証書の写し |
| 試験の免除等 | 第1次試験において面接試験を免除する。 |

[G] 特別選考G [「理数系教員養成拠点構築プログラム」修了者を対象とした特別選考]

| | |
|--------------------|--|
| 校 種 等 | 小学校・中学校の理科 |
| 特 別 選 考 出 願 要 件 | 「理数系教員（コア・サイエンス・ティーチャー：CST）養成拠点構築プログラム」を修了した者（令和7年3月31日までに修了見込みの者を含む。）。ただし、過去に岡山県（・岡山市）公立学校教員採用候補者選考試験を特別選考Gで受験した者は除く。 |
| 特別選考に係る提出書類 | 次のいずれも郵送又は持参により提出する。 ・特別選考調書<様式ア> ・「理数系教員養成拠点構築プログラム」の修了証書又は認定証の写し（修了した者のみ） |
| 試験の免除等 | 第1次試験を免除する。 |

8 選考基準等

1 第1次試験

(1) 選考の方法

教職教養試験、教科専門試験、特別支援教育に関する専門試験、養護に関する専門試験、食育及び学校給食に関する専門試験、面接並びに提出された各種資料（受験願書、自己推薦書、特別選考調書等）を基に、「**85** 選考に当たって考慮する事項」を踏まえて総合的に選考する。

(2) 主な評価の観点

○個人面接

「発言の明確さ、的確さ」 「使命感、意欲的態度」※ 「誠実さ、社会性、協調性」

※ 理数枠・英語枠・地域枠・社会人枠の志願者については、志願する枠に対する「使命感、意欲的態度」

○特別面接

「発言の明確さ、的確さ」 「使命感、意欲的態度」※ 「誠実さ、社会性、協調性」 「専門的力量」

※ 理数枠・英語枠・地域枠・社会人枠の志願者については、志願する枠に対する「使命感、意欲的態度」

2 第2次試験

(1) 選考の方法

グループワーク、個人面接、特別面接、模擬授業・口頭試問、模擬場面指導・口頭試問、実技並びに提出された各種資料（受験願書、自己推薦書、特別選考調書等）を基に、「**85** 選考に当たって考慮する事項」を踏まえて総合的に選考する。

(2) 主な評価の観点

○グループワーク

「コミュニケーション能力」 「社会性、協調性」 「主体性、リーダーシップ」 「問題解決能力」

○個人面接

「発言の明確さ、的確さ」 「使命感、意欲的態度」※ 「誠実さ、社会性、協調性」

※ 理数枠・英語枠・地域枠・社会人枠の志願者については、志願する枠に対する「使命感、意欲的態度」

○特別面接

「発言の明確さ、的確さ」 「使命感、意欲的態度」※ 「誠実さ、社会性、協調性」 「専門的力量」

※ 理数枠・英語枠・地域枠の志願者については、志願する枠に対する「使命感、意欲的態度」

○模擬授業（模擬場面指導）・口頭試問

「児童・生徒の理解」 「教科指導（保健指導）に関する知識・技能の保有」 「使命感、教育的愛情」

「意欲的態度、誠実さ、社会性、協調性」 「発言の明確さ、的確さ」

○実技

（体育） 「技能に対する知識・理解」 「技能の習得の状況」

（音楽） 「音楽の知識・理解」 「表現の技能」

（美術） 「形態、画面構成」 「明暗、配色」 「テーマ性、完成度」

（書道） 「字形」 「構成」 「線質」 「表現力」

（家庭） 「被服・食物に関する技能」 「材料・用具の扱い方、作業態度」

3 英語の資格による加点

小学校教諭等（全ての枠を含む。）、中学校教諭等（英語：全ての枠を含む。）及び高等学校教諭等（英語）の出願者のうち、各資格・検定において、<表1> (P.15)に示す基準を満たしている者で、電子申請の「加点申請」欄にて申請をした者には、第1次試験の教科専門試験（100点満点）に10点の加点をする。なお、申請をする場合は、必ず電子申請の「英語の資格」欄にも入力すること。

※4 情報の資格による加点との重複申請はできない。

4 情報の資格による加点

小学校教諭等（全ての枠を含む。）、中学校教諭等（全ての枠を含む。）、高等学校教諭等及び特別支援学校教諭等（社会人枠を含む。）の出願者のうち、次の＜該当資格＞のいずれかに該当する者で、電子申請の「加点申請」欄にて申請をした者には、第1次試験の教科専門試験（100点満点）に5点又は10点の加点（複数の資格を有する場合も、いずれか一つのみの加点とする。）をする。なお、申請をする場合は、必ず電子申請の「特技・資格」欄にも入力すること。

＜該当資格＞

独立行政法人情報処理推進機構が実施する次の情報処理技術者試験に、平成21年度以降に合格した者

・ITパスポート(5点) ・基本情報技術者(10点) ・応用情報技術者(10点)

※3 英語の資格による加点との重複申請はできない。

5 選考に当たって考慮する事項

| 校種・職種等 | 考慮する事項 |
|---------------|--|
| 全ての校種・職種 | (1) 部活動・ボランティア活動・JICA（独立行政法人国際協力機構）が実施するJICAボランティア事業に参加する等の幅広い経験を有していること |
| | (2) 学校図書館司書教諭の資格を所有していること |
| | (3) 特別支援学校教諭普通免許状を所有していること |
| | (4) 社会教育主事になりうる資格を所有していること |
| 小学校教諭等 | (5) いずれかの教科（英語を除く。）の中学校教諭普通免許状を所有していること |
| | (6) 中学校教諭普通免許状（英語）又は高等学校教諭普通免許状（英語）を所有していること |
| | (7) 各資格・検定において＜表1＞(P.15)に示す基準のいずれかを満たしていること ※ 該当する場合は、必ず電子申請の「英語の資格」欄に入力すること。 |
| 中学校教諭等 | (8) 小学校教諭普通免許状を所有していること |
| | (9) 複数教科の中学校教諭普通免許状を所有していること |
| 高等学校教諭等 | (10) 高等学校教諭普通免許状（情報）を所有していること |
| 中学校教諭等（保健体育） | (11) 剣道4段以上の段位、又は柔道3段以上の段位を所有していること |
| 高等学校教諭等（保健体育） | ※ 該当する場合は、必ず電子申請の「特技・資格」欄に入力すること。 |
| 高等学校教諭等（数学） | (12) 各資格・検定において＜表1＞(P.15)に示す基準のいずれかを満たしていること |
| 高等学校教諭等（理科） | ※ 該当する場合は、必ず電子申請の「英語の資格」欄に入力すること。 |
| 特別支援学校教諭等 | (13) いずれかの教科の高等学校教諭普通免許状を所有していること |

※ 教諭普通免許状及び社会教育主事になりうる資格については、令和7年3月31日までに取得見込みのもの、学校図書館司書教諭の資格については、令和7年3月31日までに必要単位を取得の上、交付申請完了見込みのものを含む。

9 選考結果の通知

| | |
|------------------------------------|--|
| 第1次試験の結果通知 8月7日(水)午前9時頃 | 岡山県教育庁教職員課ホームページ(https://www.pref.okayama.jp/soshiki/145/)に第2次試験の受験資格を得た者の受験番号を掲載するとともに、第1次試験の完全受験者に結果を簡易書留で送付する。 |
| 第2次試験の結果通知 10月4日(金)午前9時頃 | 岡山県教育庁教職員課ホームページに採用候補者名簿に登録された者の受験番号を掲載するとともに、第2次試験の完全受験者に結果を簡易書留で送付する。 |

※ 第1次試験、第2次試験ともに、選考結果に関する問合せには一切応じない。

※ 結果は簡易書留で送付するので、返信用封筒には確実に郵便物を受け取ることができる住所を記入しておくこと。7日間以上不在にする場合は、不在届を郵便局に提出することを推奨する。（様式等は日本郵便のホームページで確認すること。）

※ 郵便局による保管期間が過ぎ、岡山県教育庁教職員課へ戻ってきた結果通知については、結果通知日から3か月間保管するので、結果の受取りを希望する者は、その旨を申し出ること。なお、3か月を過ぎたものについては廃棄する。

※ 完全受験しなかった受験者にも、返信用封筒が提出されている場合は、結果を簡易書留で送付する。

※ ホームページへの受験番号の掲載期間は、結果通知日から10日間とする。

10 選考結果の情報提供

| 時期 | 対象 | 内容 |
|-------------|---------------------|--|
| 第1次試験の結果通知時 | 第2次試験の受験資格が得られなかった者 | ・受験した全ての筆記試験の得点並びに面接の評価段階 |
| 第2次試験の結果通知時 | 第2次試験の受験者 | ・第1次試験で受験した全ての筆記試験の得点並びに面接の評価段階 ・第2次試験で受験した全ての試験の評価段階 |

11 補欠

第2次試験の完全受験者で採用候補者とならなかった者のうち若干名を、補欠として決定し、採用候補者に欠員が生じた場合等には、補欠を採用候補者名簿に登録することがある。

補欠の決定の有無は、第2次試験の結果通知と併せて行い、補欠を採用候補者名簿に登録する場合には、対象者に個別に通知する。なお、補欠の有効期間は、令和7年3月31日までとする。

12 採用候補者の勤務校

- (1) 採用候補者名簿に登録され、採用された者は、岡山県内の市町村（組合）立（岡山市立を除く。）の小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校、岡山県立の中学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校のいずれかに勤務する。
- (2) 小学校教諭等の全出願区分（全ての枠及び全ての特別選考を含む。）に出願する場合は、電子申請の「初任地」欄に、岡山県内の26市町村（岡山市を除く。）のうち、自身が配置を希望する1市町村を入力することができる。配置に当たっては、可能な範囲で希望に沿うよう配慮する。ただし、希望の市町村とならない場合がある。なお、希望の有無及び選択する市町村は合否に影響しない。
- (3) 中学校教諭等の全出願区分（全ての枠及び全ての特別選考を含む。）のうち、数学、理科、英語、保健体育に出願する場合は、電子申請の「小学校専科への配置可否」欄に、小学校の専科教員としての配置の可否を入力できる。可と入力し、第2次試験の結果、採用候補者となった者は、初任配置校が小学校となる場合がある。なお、配置可否の内容は合否に影響しない。

13 その他

- (1) 採用候補者名簿に登録されても、次のいずれかに該当する場合には、採用候補者名簿から抹消する。
 - (ア) 令和7年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験の受験資格を欠いていることが判明した場合
 - (イ) 教員としてふさわしくない事実が判明した場合
 - (ウ) 令和7年4月1日時点で、所有している教諭普通免許状が失効している場合
 - (エ) 大学院修学継続、大学院進学若しくは教職大学院進学による採用延長（13(4)(5)(6)に示す。）を認められた者が、修学中の大学院（教職大学院）を所定の修業年限で修了しなかった場合
- (2) 日本国籍を有しない者を採用する場合には、任用の期限を付さない常勤の講師とする。
- (3) 採用候補者名簿の登録の有効期間は、令和8年3月31日までとする。
- (4) 令和7年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験の結果、採用候補者として登録された者で、大学院において修学中の者が、引き続き大学院での修学を希望する場合、その採用候補者名簿の登録の有効期間を、各大学院の修業年限に合わせて、修了までの1年間又は2年間延長する。（採用された校種（教科等）・職種の免許状を所有していること。）
- (5) 令和7年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験の結果、採用候補者として登録された者で、大学院へ修学する場合、採用された校種（教科等）・職種の専修免許状取得を条件に、その採用候補者名簿の登録の有効期間を、各大学院の修業年限に合わせて、修了までの2年間又は3年間延長する。
- (6) 令和7年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験の結果、採用候補者として登録された者が、教職大学院へ進学する場合、その採用候補者名簿の登録の有効期間を、各教職大学院の修業年限に合わせて、2年間又は3年間延長する。
- (7) 補欠として決定され、令和7年3月31日までに、採用候補者名簿に登録されなかった者は、令和7年4月1日から、岡山県の公立学校で常勤講師等として優先的に任用する。
- (8) 他の都道府県の公立学校教員で、本県への転入を希望する者も、この実施要項により受験するものとする（74[E②]参照）。
- (9) 身体等の事情により、受験に際して配慮を必要とする場合には、電子申請の該当項目にその旨を記入すること。
- (10) 第2次試験の受験資格を得た者は、最終卒業・修了（見込）学校の成績証明書を提出する。（提出先、提出期間等詳細については、第1次試験の結果通知とともに連絡する。）
- (11) 服装については、第1次試験、第2次試験とも、クールビズ（上着、ネクタイ等を着用する必要はない。）とする。
- (12) 諸般の事情により、やむを得ず試験日程等を変更する場合は、岡山県教育庁教職員課のホームページで知らせる。

<表1>

| 対象 | | ケンブリッジ 英語検定 | 実用英語 技能検定 | GTEC | IELTS | TEAP | TEAP CBT | TOEFL iBT | TOEIC L&R/S&W |
|-------------------|----------------|----------------|--------------|--------|-------|-------|-------------|--------------|------------------|
| 出願要件 | 小学校教諭等（英語枠） | 140以上 | 2級以上 | 960以上 | 4.0以上 | 225以上 | 420以上 | 42以上 | 1150以上 |
| | 特別選考A①・D⑤ | 180以上 | 1級 | 1350以上 | 7.0以上 | 375以上 | 800 | 95以上 | 1845以上 |
| 加点 | 英語の資格による加点 | 160以上 | 準1級以上 | 1190以上 | 5.5以上 | 309以上 | 600以上 | 72以上 | 1560以上 |
| 選考に当たって 考慮する事項 | 小学校教諭等 | 140以上 | 2級以上 | 960以上 | 4.0以上 | 225以上 | 420以上 | 42以上 | 1150以上 |
| | 高等学校教諭等（数学・理科） | 160以上 | 準1級以上 | 1190以上 | 5.5以上 | 309以上 | 600以上 | 72以上 | 1560以上 |

※TOEIC L&R/S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで基準を満たすこと。

また、公開テストによるスコアのみを対象とする。

※有効期限がある認定書等は出願の時点で有効であること。有効期限が過ぎたものは不可とする。

電子申請・書類作成上の参考

■ 電子申請入力上の参考

1 「最終学歴」の国立大学 教員養成課程について

参考：国立の教員養成系教育学部

北海道教育大学教育学部 弘前大学教育学部 岩手大学教育学部 宮城教育大学教育学部 秋田大学教育文化学部(教育学部)
山形大学教育学部 福島大学教育学部 茨城大学教育学部 宇都宮大学教育学部 群馬大学教育学部 埼玉大学教育学部
千葉大学教育学部 東京学芸大学教育学部 横浜国立大学教育学部(教育人間科学部) 新潟大学教育学部(教育人間科学部)
上越教育大学学校教育学部 富山大学教育学部 金沢大学人間社会学域学校教育学類(教育学部) 福井大学教育学部(教育地域科学部)
山梨大学教育学部(教育人間科学部) 信州大学教育学部 岐阜大学教育学部 静岡大学教育学部 愛知教育大学教育学部
三重大学教育学部 滋賀大学教育学部 京都教育大学教育学部 大阪教育大学教育学部 兵庫教育大学学校教育学部
神戸大学教育学部 奈良教育大学教育学部 和歌山大学教育学部 鳥取大学教育地域科学部(教育学部) 島根大学教育学部
岡山大学教育学部 広島大学教育学部(学校教育学部) 山口大学教育学部 鳴門教育大学学校教育学部 徳島大学教育学部
香川大学教育学部 愛媛大学教育学部 高知大学教育学部 福岡教育大学教育学部 佐賀大学教育学部(文化教育学部)
長崎大学教育学部 熊本大学教育学部 大分大学教育学部(教育福祉科学部) 宮崎大学教育学部(教育文化学部)
鹿児島大学教育学部 琉球大学教育学部

2 「所有(取得見込)免許状」について

所有又は取得見込の免許状について全て入力すること。

※「免許状1」に受験に必要な主たる免許状を入力する。ただし、以下の者については、「免許状2」にも次のことを必ず入力すること。

| | |
|---|-------------------------------------|
| ・小学校教諭等(理数枠)出願者 | 中学校理科、高等学校理科、中学校数学又は高等学校数学のいずれかの免許状 |
| ・小学校教諭等(英語枠)出願者のうち、中学校英語又は高等学校英語の免許状所有者 | いずれかの免許状 |
| ・高等学校教諭等(地理歴史)出願者 | 高等学校公民の免許状 |
| ・高等学校教諭等(公民)出願者 | 高等学校地理歴史の免許状 |
| ・中・高を併願する出願者 | 第2志望の受験に必要な主たる免許状 |
| ・特別支援学校出願者 | 基礎となる小学校、中学校又は高等学校のいずれかの免許状 |

3 「自己推薦」について

項目ごとに簡潔な文章で記入すること。

「ICTを活用する能力」及び「英語力」については自身で判断すること。

岡山県教育庁教職員課のホームページにある「入力準備シート」を活用ください。

■ 特別選考調書<様式ア>(P.20) ※7 特別選考試験のうち、A、B、D、E、F、Gで出願する者

1 ※印欄は記入しないこと。

2 特別選考の区分欄は、出願する特別選考を記号で記入すること。(例)特別選考A①の場合は、「A①」と記入

3 I・II欄、【大学担当者の証明】欄について

(1) 特別選考A①[英語の資格による特別選考(中学校・高等学校の英語)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす資格(資格取得年月日も含めて)を記入すること。

II 留学歴(海外の大学・大学院等への留学歴)など、英語に関してその他特記すべき事項を記入すること。

(2) 特別選考A②[英語を母語とする者を対象とした特別選考]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす勤務歴について、勤務先、在職期間(年月日)及び任用種別(教諭、常勤講師、非常勤講師等)を記入すること。

II 何も記入しないこと。

(3) 特別選考B[スポーツの実績による特別選考(中学校・高等学校の保健体育)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす大会名(開催年月)、成績を記入すること。

II 専門競技種目名、所属チーム名、資格(スポーツに関する資格(日本スポーツ協会公認資格等))、大学入学以降の主な競技歴(国際レベルの大会又は全国規模の大会について、その大会名、成績、役職、ポジション、その他特記事項)を記入すること。

(4) 特別選考D①[民間等のキャリアによる特別選考(高等学校の工業)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす、民間企業、官公庁(教職以外)、公立学校における工業(出願する分野)に関連する職務歴について、職種、勤務先、職名、職務内容、資格等及び在職期間(年月日)を記入すること。

II 工業の教諭普通免許状を有しない場合は、工業(出願する分野)に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。

(5) 特別選考D②[民間等のキャリアによる特別選考(高等学校の看護)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす、看護師、保健師又は助産師(いずれも正規職員)としての勤務歴について、勤務先及び在職期間(年月日)を記入すること。

II 看護の教諭普通免許状を有しない場合は、看護に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。

(6) 特別選考D③[民間等のキャリアによる特別選考(高等学校の農業)]の場合

I 特別選考試験の出願要件を満たす、民間企業、官公庁(教職以外)、公立学校における農業に関連する職務歴について、職種、勤務先、職名、職務内容、資格等及び在職期間(年月日)を記入すること。

II 農業の教諭普通免許状を有しない場合は、農業に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。

(7) 特別選考D⑤[民間等のキャリアによる特別選考(中学校・高等学校の英語)]の場合

- I 特別選考試験の出願要件を満たす、民間企業、官公庁(教職以外)における日常的に英語を使用する職務歴について、職種、勤務先、職名、職務内容、資格等及び在職期間(年月日)を記入すること。また、特別選考試験の出願要件を満たす資格(資格取得年月日も含めて)を記入すること。
- II 英語の教諭普通免許状を有しない場合は、英語に関する高度の専門的な知識・技能及び社会的な信頼があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有していることを具体的に記入すること。

(8) 特別選考E①[教職経験者を対象とした特別選考(本県教職経験者)]の場合

- I 特別選考試験の出願要件を満たす、本県の公立学校(岡山市立を除く。)の教諭等、養護教諭又は栄養教諭(いずれも正規教員)としての勤務歴について、勤務先、在職期間(年月日)及び職名を記入すること。
- II 教諭等としての活動実績(担任歴、校務分掌、特に力を入れて取り組んだ教育活動等)を記入すること。

(9) 特別選考E②[教職経験者を対象とした特別選考(現職教員)]の場合

- I 特別選考試験の出願要件を満たす学校の教諭等、養護教諭又は栄養教諭(いずれも正規教員)としての勤務歴(現任校を含む。)について、勤務先、在職期間(年月日)及び職名を記入すること。(育児・病気等による休業・休職がある場合はその旨も記入すること。)
- II 教諭等としての活動実績(担任歴、校務分掌、特に力を入れて取り組んだ教育活動等)を記入すること。

(10) 特別選考F[「教師への道」研修修了者を対象とした特別選考]の場合

- I 何も記入しないこと。
- II 「教師への道」研修で学んだことや感想を記入すること。

(11) 特別選考G[「理数系教員養成拠点構築プログラム」修了者を対象とした特別選考]の場合

- I 特別選考試験の出願要件を満たす、理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー:CST)養成拠点構築プログラムの履修大学名、履修(予定)期間を記入すること。
- II 何も記入しないこと。

【大学担当者の証明】 出願時に修了見込みの者は、現在履修中の大学担当者が作成したものを提出すること。

■ 特別選考調書<様式イ>(P.21) ※7 特別選考試験のうち、Cで出願する者

- 1 ※印欄は記入しないこと。
- 2 特別選考の区分欄は、出願する特別選考を記号で記入すること。(例) 特別選考C①の場合は、「C①」と記入
- 3 【講師経験】欄及び【所属長の推薦】欄について

(1) 特別選考C①[講師経験者を対象とした特別選考(前年度第1次試験合格者)]の場合

【講師経験】 受験者本人が、岡山県の公立学校等における令和4年4月1日から令和6年5月14日までの勤務歴について、勤務学校名、在職期間(年月日)、在職年数及び任用種別(常勤講師、養護助教諭、実習助手兼講師、任期付短時間勤務職員、臨時学校栄養職員、非常勤講師)を記入すること。

【所属長の推薦】 現在の勤務校又は令和6年4月1日から令和6年5月14日までの間に所属した直近の勤務校の所属長が記入・押印する。

なお、任用(予定)期間は、実際の任用予定期間(例:令和6年4月1日から令和7年3月31日)を記入する。

(2) 特別選考C②[講師経験者を対象とした特別選考(経験年数)]の場合

【講師経験】 受験者本人が、岡山県の公立学校等における令和2年4月1日から令和6年5月14日までの常勤講師等(常勤講師、養護助教諭、実習助手兼講師、任期付短時間勤務職員)及び臨時学校栄養職員(常勤に限る。)としての勤務歴について、勤務学校名、在職期間(年月日)、在職年数及び任用種別を記入すること。

【所属長の推薦】 現在の勤務校又は令和6年4月1日から令和6年5月14日までの間に所属した直近の勤務校の所属長が記入・押印する。

なお、任用(予定)期間は、実際の任用予定期間(例:令和6年4月1日から令和7年3月31日)を記入する。

(記入例) C②の場合

| 勤務学校名 | 在職期間 | | | | | | 在職年数 | 任用種別 | |
|------------|------|---|----|---|----|---|------|-------|---------|
| | 年 | 月 | 日 | 年 | 月 | 日 | | | |
| 〇〇市立△△小学校 | R2 | 5 | 25 | ～ | R3 | 3 | 31 | 0年11月 | 常勤講師 |
| 岡山県立〇〇支援学校 | R3 | 4 | 1 | ～ | R5 | 7 | 25 | 2年4月 | 実習助手兼講師 |
| 岡山県立〇〇高等学校 | R6 | 4 | 1 | ～ | R6 | 5 | 14 | 0年2月 | 常勤講師 |
| | | | | | | | 合計 | 3年5月 | |

令和7年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験【入力欄不足用】

| | |
|------|-------|
| 受験番号 | ※記入不要 |
|------|-------|

※電子申請の入力欄が不足する場合、受験区分・自署欄・生年月日・不足該当箇所に記入し提出

| 受験区分 | | | | 自署欄 | | | | | | | |
|-------|----------------------|--|-------|--|--------|----|----|----|---------|--------|--|
| 校種・職種 | 教科(科目) | 特別選考 | | 記載事項は事実と相違ありません。 (記入年月日) 年 月 日 フリガナ 氏 名 | | | | | | | |
| 小 | | 理数枠 | 理・数 | | | | | | | | |
| 中 | | 英語枠 | | | | | | | | | |
| 高 | | 地域枠 | | | | | | | | | |
| 特 | | 社会人枠 | | | | | | | | | |
| 養 | | 身体に障害のある者を対象とした選考 | | 生年月日 | 年 | 月 | 日 | | | | |
| 栄 | | | | | | | | | | | |
| 懲戒処分等 | 有無 | 年 | 月 | 日 | 処分等の内容 | | 年 | 月 | 日 | 処分等の内容 | |
| | 有・無 | | | | | | | | | | |
| | 懲戒処分歴及び罰金刑以上の刑事罰について | 有無の欄のいずれかに「○」を付け、「有」の場合は時期と内容についてわかりやすく記入すること。(年月日は判決確定年月日又は処分年月日) | | | | | | | | | |
| 教員免許状 | 校種等 | 種類 | 教科 | 区分 | 校種等 | 種類 | 教科 | 区分 | | | |
| | | | | 所有・取得見込 | | | | | 所有・取得見込 | | |
| | | | | 所有・取得見込 | | | | | 所有・取得見込 | | |
| | | | | 所有・取得見込 | | | | | 所有・取得見込 | | |
| | | | | 所有・取得見込 | | | | | 所有・取得見込 | | |
| | | | | 所有・取得見込 | | | | | 所有・取得見込 | | |
| 年 | 月 | 日 | 学歴・職歴 | | | 年 | 月 | 日 | 学歴・職歴 | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

メモ用

※電子申請の入力用等にご活用ください。(教職員課ホームページの「入力準備シート」にあります。)

令和7年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験受験願書

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---------------------------|----------|---|-------------------|--|--------------------------------------|--------------------------------|----------------|--|------------------------------|--------------------|------------|----|-----------------------------------|--|--|
| 受験区分 (該当箇所を記入又は○で囲むこと) | 第1志望 | 校種 職種 | 教科 (科目) | 特別選考 | 宣誓欄 この願書の記載事項は真実であり、学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の欠格条項に該当していません。 | | | | | | | | | | | |
| | | 小 | | 理数枠 | 理・数 | (記入年月日) 年 月 日 | | | | | | | | | | |
| | | 中 | | 英語枠 | | 氏 名 | | | | | | | | | | |
| | | 高 | | 地域枠 | | カタカナ | | | | | | | | | | |
| | | 特 | | 社会人枠 | | 氏名のフリガナ | | | | | | | | | | |
| | | 養 栄 | | 身体に障害のある者を対象とした選考 | | 初任地 (小学校志望者は、希望市町村名を記入する) | | | | | | | | | | |
| | 第2志望 | 中・高 | 受験上の配慮事項 | | 身体等の事情により、受験に際して特に配慮を希望する場合 | 昭和 平成 | 年 | 月 | 日生 | 令和7年4月1日現在 | 年齢 | 歳 | 性別 | ※記載は任意 ただし、小・中高(保健体育)を志望する者は必須 | | |
| | | | 第2志望は、併願を志望する場合のみ | | | | 小学校教諭等出願者のみ どの市町村でもよい場合はその旨 | | 昭和 | | | (R7.4.1現在) | | | | |
| | | | 国語 数学 音楽 芸術[音楽] 美術 芸術[美術] 保健体育 家庭 英語 | 可・否 | 小学校専科への配置の可否 | | | | | | | | | | | |
| | | | 中学校(数・理・英・体)に出願する者 | 大学 大学院 | 学部 研究科 養成所 | 科 課程 | 専攻 | 昭和 平成 令和 | 年 | 月 | 卒業・卒業見込 修了・修了見込 | 写真欄 | | | | |
| | | | 最終卒業・修了(見込)学校を 大学院1年生の最終学歴は、大学院。教員免許状取得のための通信教育等は、「学歴・職歴」欄に。 | | 現在所 | | 電話 () - () - () - () | | 令和7年3月中旬以降の連絡先 実家等、3月中旬以降に確実に連絡可能な所。現住所と同じ場合は、現住所を。 | | | | | | | |
| | | | 専門分野(研究事項) | 中学校 | | 高等学校 | 大学 | 指導できる部活動 | | | | | | | | |
| 部活動等 | | 中学校 | | 高等学校 | 大学 | 指導できる部活動 | | | | | | | | | | |
| 教員免許状 | 校種等 | 種類 | 教科 | 区分 | 校種等 | 種類 | 教科 | 区分 | 所有・取得見込 | | | | | | | |
| | | | | 所有・取得見込 | | | | 所有・取得見込 | 所有・取得見込 | | | | | | | |
| | | | | 所有・取得見込 | | | | 所有・取得見込 | 所有・取得見込 | | | | | | | |
| | 所有または、取得見込みの免許状について全て取得見込 | | 司書教諭資格の有無 | | 有・取得見込・無 | | 社会教育主事になりうる資格の有無 | | | | | | | | | |
| 懲戒処分等 | 有無 | 年 | 月 | 日 | 処分等の内容 | | | | | | | | | | | |
| | 有・無 | | | | 懲戒処分歴及び罰金刑以上の刑事罰について、有無の欄のいずれかに「○」を付け、「有」の場合は時期とともに、内容について分かりやすく記入すること。(年月日は判決確定年月日又は処分年月日とすること) | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 特技・資格 | 特に秀でたもののみ。「選考に当たって考慮する事項」に該当する資格は必ず。 | | | 英語の資格 | 英語(10点) 情報(5点) 情報(10点) | | | | | | |
| 岡山県教育委員会が岡山県公立学校での臨時的任用職員及び非常勤講師の登録を依頼するために、電子申請に入力した個人情報を利用することについて 〈同意する〉 ・ 〈同意しない〉 | | | | | | | | | | | | | | | | |

※ 育児・病気等による休業がある場合も漏れなく記入すること。 高等学校卒業以後、日付順にもれなく。 職歴については、簡略に。(在学中のアルバイトは不要)

| 年 | 月 | 日 | 学歴・職歴 | 年 | 月 | 日 | 学歴・職歴 |
|---|---|---|---------------------|---|---|---|-------|
| | | | 高等学校 (中等教育学校) 卒業 | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 学校教育法第9条に定める教員等の欠格事由の一つ「禁錮以上の刑に処せられた者」には、以下の期間にあるものも含まれます。 ○禁錮以上の刑に付された執行猶予の期間 ○禁錮以上の刑の執行を終わり又はその執行の免除を得た時から、罰金以上の刑に処せられることなく10年を経過するまでの間 | | | | | | | |

特別選考調書<様式ア>

| | |
|------|---|
| 受験番号 | ※ |
|------|---|

| 校種・職種 (1つを○で囲む) | 小 中 高 特 養 栄 | 特別選考 の区分 | | フリガナ 氏 名 | |
|--------------------|----------------|-------------|--|-------------|--|
| I | | | | | |
| II | | | | | |

※様式の変更不可 (A4用紙1枚)

【大学担当者の証明】 (特別選考Gの出願者のうち、出願時に修了見込みの者のみ)

次の者は、「理数系教員養成拠点構築プログラム」を、現在、本学において履修中であることを証明する。

令和 年 月 日

(受験者氏名)

(プログラム履修予定期間)

(大学名)

(担当者名)



特別選考調書<様式イ>

| | |
|------|---|
| 受験番号 | ※ |
|------|---|

| | | | | | |
|--------------------|----------------|-------------|--|-------------|--|
| 校種・職種 (1つを○で囲む) | 小 中 高 特 養 栄 | 特別選考 の区分 | | フリガナ 氏 名 | |
|--------------------|----------------|-------------|--|-------------|--|

【講師経験】

| 職員 番号* | * 岡山県から給与等の支払いがあった者は、付与されている職員番号を記入のこと。 | | | | | | | |
|-----------|---|---|---|---|---|---|------|------|
| 勤務学校名 | 在職期間 | | | | | | 在職年数 | 任用種別 |
| | 年 | 月 | 日 | ～ | 年 | 月 | | |
| | | | | ～ | | | 年 月 | |
| | | | | ～ | | | 年 月 | |
| | | | | ～ | | | 年 月 | |
| | | | | ～ | | | 年 月 | |
| | | | | ～ | | | 年 月 | |
| | | | | ～ | | | 年 月 | |
| | | | | ～ | | | 年 月 | |
| | | | | ～ | | | 年 月 | |
| | | | | ～ | | | 年 月 | |
| 合計 | | | | | | | 年 月 | |

【所属長の推薦】

次の者を、「講師経験者を対象とした特別選考試験の受験者」として推薦する。

令和 年 月 日

(受験者職名) (受験者氏名)

(任用(予定)期間) (校長名)

(学校名) (校長名) 印

※ 特別選考C①については、令和6年5月14日時点での勤務校を含め、令和4年度以降の全ての勤務歴を記入すること。「合計」は記入しない。

※ 特別選考C②については、令和2年4月1日から令和6年5月14日までの期間で、経験年数として計上する岡山県内の公立学校等における常勤講師等又は臨時学校栄養職員(常勤)としての勤務歴のみを記入し、記入した勤務歴の合計在職年数を「合計」に記入すること。

お答えします あなたの質問

(岡山県の公立学校教員をめざす人へ)

質問1 昨年の受験者や採用者の数はどれくらいでしたか。

○ 令和6年度(令和5年実施)と令和5年度(令和4年実施)の採用試験結果を紹介しますので、参考にしてください。
 [参考] 令和6年度(令和5年実施)採用試験結果について

| 区分 | 小学校 | うち小学校 (理数科) | うち小学校 (英語科) | うち小学校 (地域科) | うち小学校 (社会人科) | 中学校 | うち中学校 (地域科) | うち中学校 (社会人科) | 高等学校 | 特別支援学校 | うち特別支援学校 (社会人科) | 養護教諭 | うち養護教諭 (地域科) | 合計 | 身体に障害のある者を対象とした選考 |
|-------------|--------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|--------------|----------------|-----------------|--------------|--------------|--------------------|----------------|-----------------|------------------|-------------------|
| 出願者数 | 521 (676) | 10 (15) | 7 (10) | 40 (47) | 3 (2) | 462 (530) | 41 (38) | 1 (0) | 535 (551) | 113 (144) | 1 (1) | 175 (180) | 8 (7) | 1,806 (2,081) | 2 (0) |
| 1次受験者数(A) | 456 (623) | 7 (14) | 7 (9) | 37 (45) | 2 (2) | 414 (481) | 39 (35) | 1 (0) | 475 (489) | 101 (138) | 1 (1) | 161 (161) | 8 (6) | 1,607 (1,892) | 2 (0) |
| 1次合格者数 | 392 (415) | 7 (13) | 5 (8) | 32 (31) | 2 (1) | 192 (200) | 22 (24) | 0 (0) | 165 (153) | 89 (80) | 0 (1) | 30 (25) | 3 (4) | 868 (873) | 1 (0) |
| 2次受験者数 | 356 (344) | 6 (10) | 5 (7) | 31 (30) | 2 (1) | 179 (180) | 22 (24) | 0 (0) | 157 (143) | 86 (77) | 0 (1) | 27 (23) | 3 (4) | 805 (767) | 1 (0) |
| 採用候補者数(B) | 200 (223) | 3 (5) | 3 (1) | 20 (19) | 2 (0) | 102 (109) | 15 (15) | 0 (0) | 80 (65) | 47 (42) | 0 (1) | 15 (12) | 2 (2) | 444 (451) | 1 (0) |
| 倍率(A) / (B) | | 2.3 (2.8) | | | | 4.1 (4.4) | | | 5.9 (7.5) | 2.1 (3.3) | | 10.7 (13.4) | | 3.6 (4.2) | - |
| 補欠数 | | 0 | | | | 0 | | | 3 | 0 | | 0 | | 3 | - |

※ () 内は令和5年度(令和4年実施)の数値。(特別選考を含む。)

質問2 「補欠」について教えてください。

- 補欠は、第2次選考において決定します。ただし、教科(科目)等の区分によっては、補欠を決定しない場合もあります。
- 採用候補者(採用候補者名簿に登録された者)が採用を辞退した場合などに、補欠と決定した方を、採用候補者名簿に追加登録する場合があります。
- 補欠と決定した方を、令和7年3月31日までに採用候補者名簿に追加登録しなかった場合には、令和7年4月1日から、常勤講師等として優先的に任用します。

質問3 試験問題は公開していますか。

- 過去の試験問題等(3年間分)を岡山県教育庁教職員課において、公開(一般閲覧)していますので、課内で御覧いただけます。
- 今年度実施の問題については、第1次試験は、令和6年7月17日(水)から筆記試験の問題、解答例・配点を、第2次試験は、令和6年8月28日(水)からグループワークのテーマ、実技試験の問題(問題用紙があるもののみ)を、岡山県教育庁教職員課において御覧いただけます。

質問4 給料、手当はどのようになっていますか。

- 令和6年4月1日現在の給料は、次のとおりです。

| | 給料月額 |
|--------------------|--------------------------------|
| 大学新卒 (教諭採用) | 240,552円 (教職調整額9,252円を含む。) |
| 民間企業5年経験 (教諭採用) | 280,384円 (教職調整額10,784円を含む。) |

- このほか、勤務内容等によって次の諸手当の制度が設けられています。
 - (1) 教員特別手当、扶養手当、産業教育手当、定通手当、通勤手当、へき地手当、期末・勤勉手当、住居手当等
 - (2) 特別支援学校教員や特別支援学級担当教員には、給料の調整額が別途支給されます。

質問5 試験の日程や会場はいつ分かりますか。

- 第1次試験の筆記試験の会場及び特別面接の会場・集合時刻は、受験番号発表の際に指定します。
- 第1次試験における個人面接の日時は、第1次試験の筆記試験会場で示します。
- 第2次試験は、第1次試験の結果通知の際に指定します。

※ 試験の日程や会場の変更には、一切応じることができません。

質問6 第2次試験のグループワークについて教えてください。

- グループワークでは、当日提示された課題に対して、受験者数名のグループで協力して解決する過程を通して、コミュニケーション能力、社会性、協調性、主体性、リーダーシップ、問題解決能力などを評価します。

質問7 各枠（理数枠、英語枠、地域枠、社会人枠）について教えてください。

- 各枠の採用候補者にならなかった場合でも、出願した校種・職種の中で、枠以外の者と合わせて更に選考し、採用候補者となる場合があります。
- 自己推薦書にて、枠についての志望動機や、枠に関連するこれまでの取組等をしっかりとPRしてください。（地域枠は地域（地域枠対象地域に限らない。）における取組等、社会人枠は社会人としての経験をどのように教育に生かしたいか等。）<理数枠、英語枠>
- 小学校教諭等（理数枠又は英語枠）は、小学校における理数教育又は英語教育の充実を図るために募集するものですが、理科、算数又は英語のみを担当する教員として採用するものではありません。
- 小学校教諭等（理数枠又は英語枠）の教科専門試験は、総問題数は小学校教諭等と同程度ですが、それぞれの枠によって、理科又は数学（出願時に選択した教科）、又は英語から出題される割合が高くなります。

質問8 地域枠、社会人枠の第1次試験の面接試験で実施されるプレゼンテーションについて教えてください。

- 目的・対象者・準備物等は実施要項P.7を確認してください。
- 志願者の方は、プレゼンテーション用の資料を個人面接又は特別面接（以下「面接試験」という。）の際にお持ちいただき、面接試験の冒頭3分間に、持参資料を使ったプレゼンテーションを行っていただきます。枠に関連する意欲・熱意やこれまでの実績、今後取り組みたいことなど、自由にアピールしてください。
- プレゼンテーション終了後、その内容や自己推薦書等に基づき、面接試験を行います。

質問9 社会人枠や特別選考の出願要件等に示されている「出願時も勤務」には、育児休業期間中は含まれますか。

- 社会人枠や特別選考の出願要件等に示している「勤務」とは、実際に勤務を行っていることを言い、育児休業等は含まれません。
同様に、各選考の要件にある「職務経験」、「教職経験」、「実務経験」、「勤務経験」にも育児休業等の期間は含まれません。

質問10 中学校と高等学校の併願について教えてください。

- 国語、数学、英語、保健体育、音楽、美術、家庭の教科（科目）の区分についてのみ、中学校教諭等と高等学校教諭等を併願することができます。
- 中学校教諭等（地域枠及び社会人枠）を第1志望とする場合、並びに「7 特別選考試験」に出願する場合は、併願することはできません。また、中学校教諭等（地域枠及び社会人枠）を第2志望とすることはできません。
- 併願で出願した場合で、第2次試験の受験資格を得た方には、第1次試験の結果通知時に、第1志望又は第2志望のいずれの校種で第2次試験の受験資格を得たのかをお知らせします。

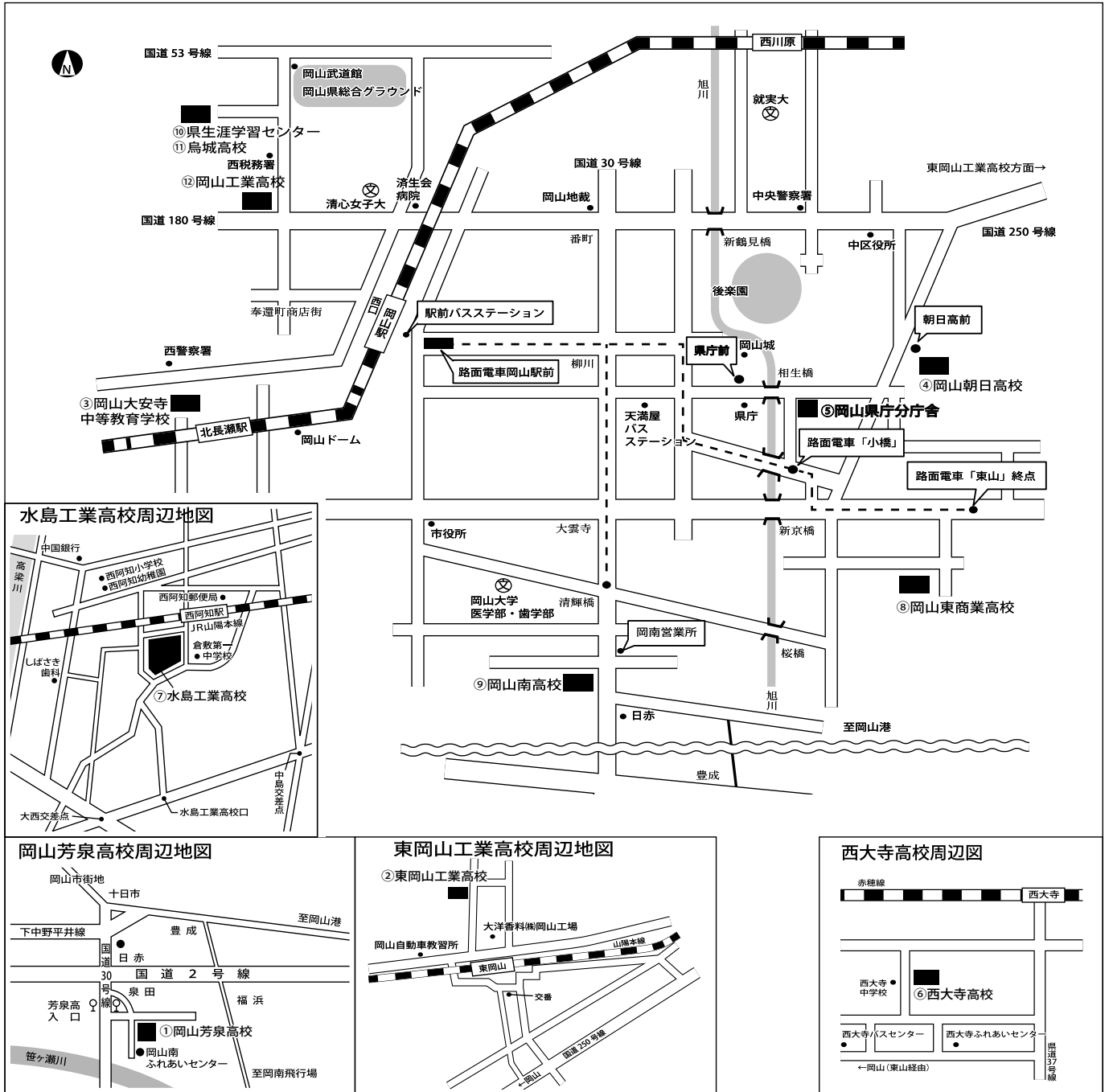
質問11 中学校教諭等の「小学校専科への配置の可否」について教えてください。

- 中学校教諭等の数学・理科・英語・保健体育に出願した方は、「小学校専科への配置の可否」を、出願時に申告いただきます。小学校教諭普通免許状を所有していない又は取得見込みでない場合でも、配置を「可」と申告できます。「可」と申告した場合においても、受験する試験内容は中学校教諭等の試験内容となります。第2次試験に合格した場合も、中学校教諭等として採用候補者名簿に登録されますが、初任配置校が小学校（専科）となることがあります。（「可」と申告した方が必ず小学校に配置される訳ではありません。）なお、配置可否の内容は可否に影響しません。

質問12 令和4年7月に教員免許更新制が廃止されましたが、自分の免許が有効か分かりません。出願は可能でしょうか。

- 今年度中に有効な免許状を保有できる見込みであれば出願は可能ですが、令和7年4月1日以降、教壇に立つためにはその時点で有効な免許状の保有が必要です。
御自身の免許が現在有効か否かについては、旧免許状・新免許状のいずれを保有しているかや、職歴等により異なるため、岡山県教育庁教職員課ホームページの「教員免許状について」を確認の上、必要があれば所定の手続きを行ってください。
なお、令和7年4月1日以降有効な免許状を保有できない場合は、採用登録者名簿に登録されていても登録を抹消します。
また、特別免許状の授与を希望する方が、教員免許状(旧免許状)を保有している場合も、保有する免許状全てを有効にする必要があります。
御不明な点は教職員課給与免許班（086-226-7579）までお問い合わせください。
※他都道府県へ申請する場合は、各都道府県教育委員会へお問い合わせください。

会場案内図



会場及び主な交通機関

| 第1次試験 | |
|---|---|
| ①岡山県立岡山芳泉高等学校 <岡山市南区芳泉3-1-1> ・ J R 岡山駅から岡電バス「大東」行「芳泉高校入口」下車徒歩約6分 | ②岡山県立東岡山工業高等学校 <岡山市中区土田290-1> ・ J R 山陽本線（・赤穂線）東岡山駅北口から徒歩約5分 |
| ③岡山県立岡山大安寺中等教育学校 <岡山市北区北長瀬本町19-34> ・ J R 山陽本線北長瀬駅から徒歩約7分 ・ J R 桃太郎線（吉備線）大安寺駅から徒歩約20分 | ④岡山県立岡山朝日高等学校 <岡山市中区古京町2-2-21> ・ J R 岡山駅前から岡電バス「岡電高屋」行「朝日高前」下車徒歩約3分 |
| ⑤岡山県庁分庁舎 <岡山市中区古京町1-7-36> ・ J R 岡山駅前から岡電バス「県庁・岡電高屋」行 ・ J R 岡山駅前から両備バス「西大寺」行 ・ J R 岡山駅前から宇野バス「四御神」行、「片上」行、「瀬戸駅」行、「長岡・駅前」行のいずれか ・ J R 岡山駅前からめぐりんバス「益野線」「県庁前」下車徒歩約8分 ・ J R 岡山駅前から路面電車「東山」行「小橋」下車徒歩約7分 | ⑥岡山県立西大寺高等学校 <岡山市東区西大寺上2-1-17> ・ J R 赤穂線西大寺駅から徒歩約8分 |
| | ⑦岡山県立水島工業高等学校 <倉敷市西阿知町1230> ・ J R 山陽本線西阿知駅から徒歩約10分 |
| 第2次試験 | |
| ⑧岡山県立岡山東商業高等学校 <岡山市中区東山3-1-6> ・ J R 岡山駅前から路面電車「東山」行「東山」下車徒歩約7分 ・ J R 岡山駅前から岡電バス「新岡山港」行「協立病院前」下車徒歩約5分 | ⑨岡山県立岡山南高等学校 <岡山市北区奥田2-4-7> ・ J R 岡山駅前から岡電バス「労災病院」、「岡南飛行場」行、「大東」「中央市場」、「築港元町」行「岡南営業所」下車徒歩約5分 |
| ⑩岡山県生涯学習センター <岡山市北区伊島町3-1-1> ・ J R 岡山駅運動公園口（西口）から徒歩約30分 ・ J R 岡山駅運動公園口（西口）から岡電バス「中央病院」行「京山入口」下車徒歩約8分 | ⑪岡山県立鳥城高等学校 <岡山市北区伊島町3-1-1> ・ J R 岡山駅運動公園口（西口）から徒歩約30分 ・ J R 岡山駅運動公園口（西口）から岡電バス「中央病院」行「京山入口」下車徒歩約8分 |
| ⑫岡山県立岡山工業高等学校 <岡山市北区伊福町4-3-92> ・ J R 岡山駅運動公園口（西口）から徒歩約20分 | |
| ⑤岡山県庁分庁舎 <岡山市中区古京町1-7-36> ・ 第1次試験⑤参照 | |

キリトリ線

令和7年度岡山県公立学校教員採用候補者選考試験

受 験 票

(第1次・第2次共通)

| |
|------|
| 受験番号 |
| |

4 cm×3 cm
※出願時に提出したものと
同じ写真を貼って
試験当日に持参
(写真の裏面に受験番号
と氏名を記入)

| | | | |
|-----------|--------------------------|--|-------------|
| 校種 職種 | 小・中・高・特・養・栄 | 教科 (科目) | |
| 枠 | 理数(理)・理数(数) 英語・地域・社会人 | 身体に障害のある者を 対象とした選考() | 特別 選考() |
| 氏 名 | | | |
| 第1次 試験 | 日時 | (筆 記)令和6年7月6日 (特別面接)令和6年7月 日 | 集 合 集 合 |
| | 会場 | | |
| 第2次 試験 | 日時 会場 | 第2次試験の受験資格を得た者に対し、 第1次試験の結果通知の際に指定する。 | |

【受験上の注意】

- 1 試験場には必ず本票を持参すること。
(第2次試験にも本票を使用するので、第1次試験終了後も紛失しないこと。)
- 2 第1次試験の個人面接の日時・会場は、第1次試験の第1日目に示す。
- 3 試験会場及び会場周辺への自家用車の乗り入れ、無断駐車、送迎は固く禁止する。
- 4 **試験場は禁煙とする。**

キリトリ線